京城日報

本紙定價 一部參錢 壹箇月七十五錢(郵税共) 廣告料金 五號十五字詰一行一圓 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 [illegible]

十二月十三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇英佛同盟說觀測 歸着點逆睹し難し ―某外交通談―

巴里に於て英國皇帝と佛國大統領との交驩の間に英佛同盟成立したりとの報ありしも果して然るや否や明かならず歐洲に於て獨逸及び墺太利の脅威が退し其國勢を速かに回復することは困難なりと見らるゝ今日斯かる同盟が直ちに現出すべしとは信ぜられざるも兩國識者間に於て然る思惑あることは爭ふべからざる事實なり又國際聯盟の實現容易ならざれば英佛同盟を策せんとの議英國の一部に於て盛んなるとは世界周知の事實なるも英米佛共に個々の問題に關し一致するものある一方には衝突しつゝある問題もあれば果して何れに歸着するや逆睹し難く此國際關係の間に夕を測るべからざる今日聯合國間に密接して遠き將來を企圖するには宜しく他國との驩關に落伍せざらんことを要すと某外交通は語れり(東京特電)

◇獨現下の三勢力 過激主義對民主々義對立

倫敦來電=獨逸現下の情勢に就き諸種の報道を綜合するに大體左の三勢力あるを認む

▲エーベルト現政府 國民會議の開催を主張し居るものにて今尙ほ多數國民及び兵士の支持を受け居れり

▲勞兵會實行委員會 伯林勞働階級少數派の代表者にしてリープクネヒトを首班とし人民階級の獨裁政治を主張するもの

▲アイスネル(巴威首相) 分立運動を爲しつゝあるも漸次勢力を失墜しつゝあり

而して以上を要約して得たる所は即ち過激派主義對民主主義の對立に外ならず然れども若し宰相エーベルトにして獨逸のケレンスキーたらしめずんば獨逸革命の前途は縱令五箇派の反革命運動ありとするも安全なるを得べし(東京特電)

◇墺講和會議條項

倫敦來電=維也納よりの報道に依れば墺國新外相は、來るべき講和會議に於て墺國は左の條項を提議すべしと聲明せり(東京特電)

一、墺太利各民族の領土問題は住民の一般投票に依り解決すること

二、國有財産問題其他の諸問題は仲裁々判に依り決定すべきこと

三、墺太利と獨逸聯邦との合併に對し承認を求むること

四、墺太利は國際鐵道又は其他の方法に依りアドリヤチック海への出口を與へらるべきこと

◇前獨帝豫備草案 審問開始の曉を豫想して

倫敦來電=獨逸前帝の所在地たる和蘭アメロンゲルより達したる報道に依れば獨逸前帝は昨今病的狀態に陷り夜も寢もなく頻りに何事か執筆しつゝあり右は最近聯合國間に問題となれる獨逸前帝の審問等開始せらるゝ場合を豫想し其場合に對する草案を準備しつゝあるものゝ如し(東京特電)

◇丁抹皇太子退位

コツペンハーゲン來電=丁抹皇太子は五日退位の宣言を發表したりと(東京特電)

◇セ軍隊引渡提議

八日齊多よりの報道に據ればウオルコフ枝隊は貝加爾鐵道及び沿線モク村に駐屯せり而してウオルコフ將軍はセミヨノフ將軍に對し二十四時間内に戰鬪の慘禍を避け平和裡にセ軍枝隊を引渡す可しとの提議を爲せりと云ふ(東京特電)

◇猶太人虐殺原因

倫敦來電=十日ガリシヤのレムベルグに於て二千以上の猶太人虐殺せられたり原因は波蘭の獨立運動に參加するを拒みたるが爲めなりと(東京特電)

◇天津重要會議

張作霖氏は倪嗣沖、陳光遠、雷振春、李烈鈞氏等高級軍人二十餘名と共に九日夜天津にて重要會議を開けりと(北京特電)

◇駐日佛大使更迭說

倫敦來電=巴里よりの報道に依れば駐日佛國大使ドラネー氏歸國し其後任として現諾威駐箚佛國公使駐日大使たるべしと(東京特電)

◇船舶管理令撤廢要求 政府不撤廢言明

船主同盟會は十二日神戸に理事會を開き當局に船舶管理令撤廢を要求す可く五名の實行委員を擧げたるが右は平和克復後一年を經過せば自然消滅に歸すべきものに就き政府に於て今日直ちに之を撤廢する意思無しと中西遞信次官は語れり(東京特電)

◇徐將軍通過

歸國の途にある徐樹錚氏一行十四名は十三日朝釜山上陸直に北行せり(釜山特電)

◇ホ將軍幕僚通過

ホルワット將軍幕僚リフテツ氏十[illegible]

◎全露政府の大藏證券發行 某銀行家談

オムスクの全露政府は露曆十一月二十一日(日本曆十二月五日)の官報にて五億留の大藏省證券を發行の事を告知したる旨在オムスク佐藤總領事發某所着電報を昨紙に掲載したるが右に付有力銀行家は曰く全露政府は露國各政府中兵力財力を兼有し最も有力のものたり然れども其の政費缺乏の度は甚だしきものなり今回大藏省證券の發行も素より窮乏の餘に出でたるものならん唯オムスクは人口二十萬の大都市たり近在も東部西伯利の如く寂寥を極めし土地にあらざれど一般の人民に政府發行證券の應募力ありやと云へば甚だ怪しきものと云ふべく若しありたりとては應募するもの少なかるべし思ふに全露政府は電文にも見ゑたる如く大藏省證券を紙幣通りに流通せしむるの意を有し居れりとの事に付其の機關銀行に之れを引受けしむるの形式をとり結局物資購入代金に充つる通貨として市場に放出するものに非ざるか尙ほ内地某新聞には英佛にて全露政府の財政的援助をなすよう報ぜられたるが該報にして事實とせば該證券を英露兩國にて引受くる事となるや計られず然も右說は俄に信を措き難し

◎在滿鮮人生活

最近奉天商業會議所の調査に係る滿洲方面に於ける朝鮮人の生活狀態及び水田事業の概況を聞くに特種階級の鮮人を除くの外一般は下級支那人と等しく高粱粟を常食とし蔬菜を副食として克く困苦に堪へ生活費の如きも一家五人の家族にて一年百五十圓乃至二百圓三四人の家族にて百圓内外を要するみ[illegible]經營者にして彼等農民は又悉く水田經營者たるを以て經營地に生活狀態に關しては之を省き單に本年の收穫に就いて言へば春來天候順和にして灌漑の便容易なりし上り蒸木の成長著しく佳良にして殊に開花後適當の溫度を受けたるため收穫至極良好の見込なりしも八月中の霖雨に遼河氾濫し田庄台附近一帶は一時泥濘に變じたる爲め近年稀なる凶作に終りたる模樣なりと

◎獨逸混亂情勢

▲三派鼎立 當分攪亂繼續せん 目下伯林市內は現政府、勞兵會及びスパルタクス團の三勢力鼎立し現政府殊にシャイデマン、ハーゼ一派の緩和なる態度を攻撃するに際してはスパルタクス團は勞兵會と爆動し步調を共にしつゝあるも三者各其主義を異にし現政府は多數社會黨と獨立社會黨と握手すると共にヒンデンブルグ元帥と氣脈を通じ獨逸の分裂防遏に努力し一日も早く政體會議を開催して主權の所在を明かにし能ふべくんば之を現政府側に固定せしめんとし勞兵會は政治の運用のみを現政府の吏僚に任せ主權を的確に勞兵會の掌裡に收めんとしスパルタクス團即ちリープクネヒト及びローザルクセンブルグ(萬國職工協會長)の一味は[illegible]に防衛すべき祖國なし唯勞働の國あるのみとの主義を以て國際聯盟に近き世界的主張を持し政治は特種階級の獨斷すべきものに非ず兵會の獨占も不可官僚派の專斷も不可なりとし大體に於てレーニン等の主張に近き主義の宣傳を爲しつゝあり而して此一味は理解ある第一流の社會主義者を以て滿たされたるが如しと云ふ

▼衝突勃發 スパルタクス團は前記の主張の下に其宣傳には武力を必要とすとの信條に依り十一月十一日の勞兵大會に於て現政府及び勞兵會に交涉し赤衞軍の組織を建議せしもユーベルト及び勞兵會の反對に會して失敗に終りしが其後復員豫備兵並に食に窮せる貧民の間に暗中飛躍を試み最近に至りては約十萬の兵を集め頻りに過激思想を宣傳すると同時に主義の爲めに戰ふべきを誓ひつゝありしが遂に現政府を顚覆するを目的としてクーデターの實行に著手せり然るに伯林駐屯政府軍(即ち勞兵會員)の十分の九は悉くスパルタクス團の行動に與みし双互の間に激烈なる市街戰を惹起せしも伯林に在りて勞兵會に代表者を出し居らざる殘りの十分の一の政府軍は比較的穩健なる分子なるを以て衝突の爲に双方に多數の死傷者を出し獨逸國内は益々混亂せしむるに忍びずとし兩者の間に調停の勞を執り漸くにしてスパルタクス團の非常手段は一[illegible]的傾向を見るに至れり

▼元帥召致 又伯林現政府は時局の收拾に窮しスパルタクス團のクーデターは一時鎭壓し得たるも今後何時事變の突發するや圖り難きを察し先づヒンデンブルグ元帥を伯林に召致せんとし既に歸還命令を發せりと云ふが其目的は何所に在りやは不明なるも恐らくスパルタクス團の討伐に當らしむるには非ずして現に勞兵會と政府及び野戰軍と後方勞兵會との間には不斷の小衝突を繰返しつゝあるを以て之を調停せしめんとするに在るべしと云ふ尙ほ最近に於ても元帥は野戰軍を統括し秩序的復員を爲すに留意し撤退軍隊を伯林に向はしめずライン右岸地方の給養に便なる地に集團せしめ逐次に復員中にして野戰軍の規律の尙ほ三[illegible]

▼復辟一派 潛して南方聯邦中巴威のアイスネル一派はゾルフ、シャイデマン一味の漸進主義者を攻撃し徹底的に新獨逸を組織し自國自ら其盟主たらんと畫策し頻りに伯林政府を威壓する爲め其間に多少協商側のプロパガンダも加はり事態は益紛糾を加へつゝあるに一面に於ては復辟派と稱すべき多少勤王思想を有する一派の各地に潛在せる模樣もありカイゼルの引渡要求の實現せる場合には此派の反對運動を惹起すべき形勢あり諸派の行動區々にして適從する所全く不明なれば獨逸の國狀は當分混亂を繰返すこと・なるべし(東京)

四箇月間軍隊給與を爲すに足るべしと傳へられつゝあり

◎定例長官會議

十三日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官並に所屬官署長參集重要政務に就き審議する處ありたり

◎鮮銀兩店閉鎖 殖銀の受繼

朝鮮銀行の馬山及び新義州出張所は廢止の如く全部を擧けて十四日の現在により朝鮮殖産銀行に讓渡する事となりたるが殖産銀行にては新馬山の鮮銀出張所を馬山支店とし舊馬山の殖銀支店を殖銀派出所となすべく又新義州にては鮮銀の兩店務を合同すべし

▲三島氏の談 三島殖銀頭取鮮銀理事は同く鮮銀の馬山新義州兩出張所は十四日締切の現狀にて殖銀に讓渡する事となれるが鮮銀は鮮銀のこり來れる貸出金利に應じ改定を必要とする者は改定し行くべし馬山の店務は概して閑地方に限られ居れど新義州の鮮銀は商埠地奉天方面に及び爲替其他の關係稍複雜なり然も之等は從前鮮銀の執り來りし同樣何等の不便なく殖銀にて實行し行くべし

▲重役幹部出張 兩店引繼ぎ立會並に披露の爲め馬山には殖銀理事中村光吉鮮銀檢査役龜島豐治氏共に十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて南下すべく中村氏は馬山より晉州方面に旅行し十七八日頃歸任すべし又新義州には殖銀理事有賀光豐鮮銀庶務局長橫[illegible]有賀氏は十四日朝北行同地に於て各官廳會社代表者並に關係商店を招待披露宴を張る由

▲行員異動 鮮銀馬山新義州兩出張所廢止に付菅井馬山出張所長は近く本店に引揚ぐべく新義州出張所長富恒敬氏は殖産銀行に入り新義州支店長に就任する事となりたり尙ほ他の行員は一部殖銀行の行員となり大部分は鮮銀の本店若くは支店に配屬せしむる由なり

◎東拓債締切

鮮滿の鮮銀一殖銀にて公募中なりし東拓第五回債券は利廻りよきため内地に於ける應募豫想外に好況なりしもの・如く十二月を以て滿了せしを以て締切り豫定に先立つ二日前締切りたり

◎仁川期米紛訌 虛電事件起る=或は刑事問題=引け値暴落

十三日の仁川期米前場は先限三十一圓七十錢に寄り附きしが後大阪寄り附三十八圓四十四錢の高報ありと云ひ觸らせしものあり場面俄に硬調を呈し四節に於て三十一圓八十一圓の高値を呈せしも右は虛電にて事實大阪の前場寄り附は三十七圓八十八錢なる事判明せしより場面紛糾買方の卑劣を罵る聲高く四節取消し說さへ出でたるより[illegible]會を開いて善後策を講究せし結果四節はその儘として五節を繰下げ三十一圓三十五錢で四節の高値に比し四十六丁方の暴落を呈したり

尙ほ取引所にては大阪高報を云ひ觸らせしは果して虛構なるか若くは誤電なるか、風說を立てしものは何者なるか等に付此儘放置し難き問題なりとして嚴重調査すべく當面の責任者は法によりて[illegible]

[illegible]安[illegible]として[illegible]生を見るやも計り難きもの・如し尙ほか・る狀態を來したるは正に賣方の測落を語るものと云ふべく今後は賣方の活動により一段の崩落は免れ難かるべしとの說有力なり

◎供託所指定變更

[illegible]正元年告示第百十三號供託所指[illegible]

◎主要驛收入

既報の如く朝鮮鐵道に於ける最近運輸成績は頗る良好なるが尙十一月中各主要驛の運輸收入左の如し

南大門	一六五、二四〇圓
釜山	八四、三五三
龍山	七二、九五四
平壤	六八、七四三
大邱	五九、四〇〇
鎭南浦	五五、八二八
仁川	五三、一三九
新義州	四四、五〇〇
群山	三〇、一八八
元山	三四、四二六

◎連帶貨物擴張

滿鐵京城管理局々線澤山南會汽船連帶阪神行大貨物の取扱品種中雜貨を追加し十三日より實施する事となれるが其の賃金左の如し 本船運賃(雜貨)一英噸一〇、一五 百斤〇、六〇一才〇、二五 積繫費 一英噸〇、五〇百斤〇、〇三一才〇、〇一

◎興業社增資許可

成鏡南道端川郡株式會社興業社は從來五萬圓の資本にて貿易業資金貸付委託仲介業を爲しつ、ありしが今般資本金を三十萬圓に增加し從來の業務以外に酒類釀造業を營むこと、なり豫て出願中の處十二月十二日附を以て許可せられたり

◎見習講習終了

一同判任官見習講習會は去る七月以來京城永樂町法政研究會に於て開催中の處近く講習を終了すべく依て二十三日午前九時半より終了式を擧行し講習生三十九名に對し終了證書を授與すべきが當日は山縣政務總監の訓示宇佐美內務部長官の論示等あるべく關係各員及び講師出席の筈なりと因に第二回講[illegible]

◎毛利男歸

久しく滯京中なりし毛利五郎男は十三日午前十時半總督府に山縣政務總監を訪問し退京の挨拶を爲し同時に贈一籠を贈り同午前十一時三十分南大門驛發列車にて南行途中成歡に下車し赤星農場を視察し夫より大邱、大田、慶州等を視察すべし

◎鈴木長官東上期

鈴木度支部長官は第四十一議會提出豫算事務打合せの爲め十二日附を以て東京へ出張を命ぜられたるが多分十六七日頃出發のこととなる可し

◎矢野分隊長懇親宴

矢野龍山憲兵分隊長は龍山官民各方面の代表者二十餘名を十二日午後六時より八景園に招待し懇親の宴を催せり

◎大田理事歸京

鄕里石川縣に赴きたる大田殖銀理事は十三日午後九時十分南大門驛着列車にて歸京すべしと

◎川上理事歸期

滿洲出張中の東拓理事川上常郞氏並に米山庶務課長一行は十五日夜南大門驛着列車にて歸任すべしと

次高杉東行品川酒樓韻 河村 菊軒

滄波瀲灔泛群鷗。紅蓼白蘋開素秋。剪北風雲眞消遣。海東隣組轉悠悠。百年勳業空遺恨。一代經綸奈唱愁。慷慨有人頻撫劍。悲歌醉舞月明樓。

偶 制 鈴木 蘭堂

亂映紛紛獺祭魚。蕭然陋巷似林居。一貧仍舊休相笑。人羨黃金我讀書。

題畫 長田 雲堂

蓋重老樹總模糊。積翠浮空半有無。千古南宮存妙訣。扁舟雨後釣平湖。

留別高橋友人 津田 耕南

我嘉風流李謫仙。渾將身跡付青天。無端興爾方分袂。離解高山流水絃。

仁川埠頭所見 早田 玄洞

約束魚龍氣不驕。萬檣唯見彩旗飄。[illegible]歌越倡聽難辨。燈花星低半夜潮。

[illegible]月尾島陰龍氣眠。當年曾此繫長鯨。舵樓幾處人爭笑。星斗秋高鐵笛鳴。

題吉川松陰墨蘭次其韻

花々个々古蕩人。澹。公下寧吟意邈。

[illegible]

竹石圖 高野竹陰評 渾合自然。作者伴先生。

近業中、當推出色。

湖石嶙峋勢不同。一竿搖著起清風。難消萬古湘娥淚。渾在雲根露葉中。

同評 無一語平字、字々欲飛、是潘翁之法。

人事消息

▲赤間嘉之吉氏(代議士) 十三日朝退京

▲志倉光徹氏(東洋砂糖會社員) 上

▲宗像十朗氏(八幡製鐵所監事) 同上

▲松本眞吾氏(銀行家) 同上

▲澁谷太吉氏(殖産銀行光州支店長) 同

▲和田駿氏(總督府鐵道局監理課長) 內地へ出張中の處十一日夜東京出發歸任の途に就けるが十七日夜南大門驛着の豫定

▲熊本縣教育視察團一行 入京中の處十三日午前四時四十分南大門發列車にて內地へ向ふ

八面鋒

◇鐵火の戰爭收まりて算盤上の激戰起るべしとは、何人も唱ふる所にして、中にも世界衆目の集まる所は、巨大なる資本を擁する米國の上にあるが、目下紐育の一大製造會社を代表し、東洋に向け出發せるカドワレダー氏は、揚言すらく、米國は支那日本及び海峽植民地に於いて戰前獨逸の獨占したる染料、化學製品及び其の他の物貨につき、斷乎たる競爭を試むべしと。

◇染料及び藥品類が獨逸の輸入杜絕して以來、本邦に於いて一時大に窮乏を告げたるが、政府の獎勵及び民間の努力に依り、兩三年以來內國の需用に應ずるの外、大陸地方にも輸入の途を開き、多少將來の見込の立ちたる場合、突如として此の強大有力なる競爭者の出現に遇ふ、當業者の狼狽察すべきなり。

◇染料藥品製造業者は如何にして之に對抗せん積りなるか。聞く所に依れば彼等は休戰後俄然として價格の低落せるに驚き、政府に向つて關稅引上を哀願したりとか。

◇自己の努力奮勵を餘まずして、關稅の保護政策に依り、僅に國內の價格を維持せんとす、か・る不心得の業者の聞くべきにあらず。獨り染料藥品といはず、我製造業中に此種の意苦地なしが澁々として簇在するが事實なり、前途を推測せば、誠に以て心細からざるを得ず。

◇經濟戰爭と共に、必然來るべきものは、思想界の戰爭なり。獨逸は戰爭中に於いて露國の過激派を操縱しながら、其の思想の國內に浸染し來らんことを非常に恐怖したりしが、猪食つた報は免るべからず、目下の伯林は此の過激思想のために攪亂に瀕しつ・ある也。

◇近頃飛電あり、露國過激派首領レーニンは自己の勢力回復策として、多數の部下をして、全國に亘り盛んに過激思想を宣傳せしめ、又東部西伯利より滿洲を經し、支那日本にも其の說を傳播せんと努めつ・ありと。ウソにしても油斷のならぬことなり。

◇さらぬだに國民思想の動すれば統一を缺き、何かにつけて動揺し易き折柄、餘程大膽なる處置を施さずんば後に臍を噬むの悔あるべし。

謹告 例年の通り季節物潤澤に取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候 食料品問屋 京城南大門市場 辻本商店 電話七五番六四二番 振替三八一番

酸素透熱療器 冨士博士考案の本器(原名オキシデアテルミー)は血液の循環を良好にし生理機能を活潑ならしめて自由に空氣中の酸素を人體に攝取せしめ自然療能を旺盛にして迅速に萬病を治癒せしむるに偉大の効力を有す[illegible]其効力の永久不變にして使用法の簡便なるは家庭用とし醫家用として現代治療器の權威たらん ▼定價 家庭用金廿五圓 醫家用金卅圓 說明書進呈▲ 東京市神田區表神保町拾番地(一ツ橋大通り) 合資會社オキシデアテルミー商會 電話本局長五一七八番・振替東京九五五七一

謹告 右者永年勤續中ノ處今回合意ノ上退店獨立致候條弊店同樣御引立賜度此段謹告候也 大正七年十二月十三日 京城府本町三丁目 梶原末太郎商店 中屋敷與惣造

謹啓 小生儀梶原商店へ在勤中は不一方御厚情御引立ヲ蒙リ難有厚ク御禮申上候今回合意ノ上同店ヲ辭シ獨立事業ニ從事致候條何卒倍舊御愛顧賜リ度此段御禮旁々御願申上候 敬白 大正七年十二月十三日 京城府本町四丁目一番地 中屋敷與惣造

ゼオラル 靴下カバー 新案特許 NO 29799 大變あたゝかい 靴下がよごれない [illegible] 各地の洋品店靴下店に販賣せり 一足金五十五錢(送料共) 發賣元 大阪市東區内本町一丁目 呉服雜貨 谷町二西入 吉金商店

猪肉新荷着 例年の通り猪肉賣出し仕候御値段は特に御相談可仕候 一貫目以上は御卸同樣に差上仕候 京城明治町二丁目電話一〇四二番 精肉氷商 石田本店

宮內省御用達 ヒゲタ醬油 千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造 代理店 京城明治町二丁目 發賣元 山邑京城支店 電話八四九番・四五四番 振替貯金口座京城七五番

色めいた李王職

何處を見ても慌しい氣分が

閔長官が祝電を持つて内殿へ伺候

十三日は王世子殿下告期の御儀を行はせらる。當日こて李王職は朝來何んこなく色めき立つて見ゐた。折柄こには珍らしい小春日和、和かに射す日の影に御苑の松一しほの色を增し要の如き朱殿碧閣に映ゆてめでたしこもめでたし、この日閔長官は登廳するこ直く長谷川總督から來た祝電を懷中しフロックコートの威儀を正して内殿に伺候する、多分總督の御祝辭を言上する爲であらう、今度の御慶典について一等仕事の多い庶務課は今日は又一層の忙しさ、田中課長は絶えず出たり入つたり、席暖かならずこ云ふ有樣、何處を見ても慌だしい氣分が漂ひ溌剌たる活氣が横溢して居る、斯て何時しか正午になつたが告期の儀に關する電報はまだ這入らなかつた、係り員は『多分夕景になるでせう』こ語つて居た

▽總督より御祝電 王世子殿下こ梨本宮方子女王殿下この御慶典に關し目下東上中の長谷川總督より十三日閔李王職長官宛李王、同妃、李太王殿下へ御祝辭傳達方依賴する旨電報あり依つて閔長官は直ちに内殿に伺候し次いで德壽宮に伺候し右の趣き言上する處ありたり

チョン髷に衣冠

をつけた岩倉特使と渡歐した

◇當時を偲ぶ牧野特使

重き尊き使命を帶びて晴れやかの首途につきたる牧野特使は五十年前の追憶を喚起して記者に語つた『私は今

◇明治四年 に岩倉特使の一行に伴れられて渡歐した時のここが深く思ひ出される、丁度品川から横濱までの汽車が出來たばかりで一行は外國の土を踏む前に日本の汽車に乘つて行きたいこ言ふので初めての試運轉で横濱まで運ばれて行つた、私はまだ十一歳の子供でまだ東京には洋服屋がなく横濱から招んで作らしたが子供服を作るこミを知らずモーニングコートを作つて來た、子供用のカラがないので私は父(大久保公)のを貰つて

◇紅い碁盤縞 のフランネルの襯衣を著てカラを外す必要はないのですつぽりこ頭から著たり脱いだりした、船は太平洋汽船の外輪式の二千噸ばかりので岩倉さんはチョン髷に衣冠をつけて居られた」出發の時横濱の外國領事團の招待會で岩倉さんが挨拶をしたそれが演説こいふもの〻最初のものであつた、米國へつくこ鎖國主義の日本が米國の指導で開國した最初の特使だこいふので非常な歡迎をうけた、何處へ行つても恰度今日吾々が迎へられる樣に一杯の人で迎へられた、英語の話せるのが林董さんこ福地、關田の三人だけで岩倉さんは衣冠の官服姿で大統領に謁見しそれを珍らしがる見物で動けぬ樣な騷ぎ、之では見世物に來た樣なものだこ岩倉公の息子さんから勸めて

◇髷を切つた 今の日本の大禮服の制度はその時に一行が決めたものである、其の時伊藤公は副使の一人こして將來列國こ歩調を一にし相提携して行くこいふ日本の國策について大演説をやつた、此の演説は實に立派なもので今日の日本の國策も之こ少しも違ふ所がない、今の日本の政治や諸制度も其時のいろ〳〵の調査が基礎になつてゐる、當時を追懷するこ凡てが變つて居て感慨に堪へないが今吾々が世界大戰後の

◇平和會議 に臨むに當つても列國こ共に携へて進んで行くこいふ心持は五十年前の伊藤公の演説こ同じである——』(横濱)

米國紐桑間の「ウイルソン空中航路」

——三千哩の米大陸を横斷して空中郵便開始——

大戰中も絶えず飛行機を平和の利器こして活用し不斷の努力をなしつゝありし米國にては最近著々郵便飛行の實績を擧げ既に紐育、費府、華盛頓(約三百哩)及び市俄古紐育(約七百八十哩)の

▼定期飛行 を實施しつゝあるが米國飛行倶樂部は更に北米全土の大規模なる都市聯絡を企て又新著の米誌『エーリアル エーヂ』の傳ふる所によれば紐育より桑港に至る約三千哩の北米大陸横斷空中路を想定し之をウードロー・ウイルソン空中航路こ名づけ完全なる地圖を作成し途中若干の著陸場を設置し半官半民を以て近く此

▼大距離の 空中郵便を開始する筈猶米國政府は戰時の工業動員によつて製作せる飛行機三千臺を新に民間に拂下げ十三州各都市の郵便物に對する空中聯絡を採るべしこ云ふ

國平船遭難

去る八日午前四時三十分[illegible]されたる船體には大した破損無かりしも積荷に鹽水を浴び約三千[illegible]

[illegible]殷々たる禮砲聲裡馬車を驅つて司令部に入りたり

革命婆さん 米國へ

——天洋丸で

◇ナイト提督も同船 我講和使節一行の外天洋丸で出帆した船客七百卅名の中主なる人々は去る七日米國亞細亞艦隊司令長官を辭したナイト大將及び副官ビション氏があつた此外露國革命婆さんブシコヴスカヤ女史があつた前瑞典公使ワーレンベルグ氏や國際通信社長ケネデー氏元英國大使館武官クリトン大佐等もあつた(横濱)

支那使節 陸氏も

諏訪丸で……

◇天洋丸こ同じ日に 十日の横濱は世界講和の議を前景こして幾多内外の諸名士を送つた日本からは牧野男一行は別記の如く天洋丸で又中華民國講和使節陸徴祥氏は午後三時諏訪丸にて渡米の途に就いた出航前棧橋に整列した可愛盛りの支那小學生の前で陸氏は萬歳の聲を浴びせられて大元氣に答禮し夫人及びリリー孃等を隨へ振返り〳〵船に乘つた(横濱)

練習艦 八雲

——上る 遠洋航海の途に

去月卅日海軍機關學校を卒業せる機關少尉候補生北川武以下四十八名を搭乘せしめたる練習艦八雲(艦長大見大佐)は十日午前十一時三十分横須賀を出港し遠洋航海の途に上れり海軍省よりは大臣代理こして鈴木次官來艦第一艦隊司令長官山下大將第二艦隊司令長官山屋大將村上教育本部長こ共に十七

◇禮砲殷々 たる中に乘艦の村上教育本部長は候補生一同を上甲板に集め一場の訓示演説を爲し退艦せり同艦の碇を捲上ぐる刹那追濱航空大隊よりは七十馬力ウ式飛行機を飛ばし其行を壯にす同艦は先づ鳥羽港に停まりて伊勢大廟を拜し大阪より上陸桃山參拜神戸大阪の飛行場を視察呉にて越年江田島宮島等を經て佐世保に滯泊九州北部の諸工場炭山等を觀察し

◇朝鮮 釜山鎭海仁川大連旅順青島等を經て日露日獨の兩戰跡を視察し二月中旬南下し上海ウーソー香港西貢新嘉坡蘭尼刺等に引返し臺灣打狗基隆沖繩を經て六月十九日横須賀に歸著の豫定にして行程八千三百哩日程二百二日に亘るべしこ(横須賀)

水上飛行機墜落

留岡中尉木崎水兵墜死す

東京灣上練習飛行の七號機

追濱海軍飛行隊にては十二日午前九時十五分中尉留岡勳氏操縱一等水兵木崎幸五郎氏同乘しフ式七十馬力イの七號機にて東京灣上を練習飛行中墜落し同十一時五分兩氏共落命せり 此報天聽に達するや畏き邊より四竈侍從武官を御差遣あらせられたり(東京特電)

南洋警備の 淀凱旋す

南洋警備の任を終りて九日午後二時半横須賀に凱旋せる砲艦淀(千二百五十噸)艦長森大佐の談を聞くに『同艦は去七月横須賀を拔錨マートラックに至り十七日以降マーシャル、カロリン諸島を巡航し東西二千哩南北千五百哩に亘れる海面を航海せしが別段特記する程の出來事に遭遇せず島民一般我文化に浴し近來發達著しく殊に每年一回の母國觀光は頗る好評なり』(横須賀)

武裝強盜

——を防ぐ爲 軍公式布告

浦鹽來電=浦鹽に於ける軍參謀課公式布告を發せられたるが右は十四日當地に於て世人の耳目を聳動せしめたる武裝強盜を未然に防がんが爲めなりこ(東京特電)

◇本社輪轉機を見學してゐる高女生

オムスク地方 虎疫猖獗

トムスク六百三十七名

オムスク通信に據ればオムスク地方は虎列剌病猖獗を極め死亡者多數にて最近二週間の患者百七十名を出し中九十八名死亡し尚トムスクに於ては六百三十七名の患者あり又チエリヤビンスクに於ては虎疫最も猖獗を極むこ

下關火藥庫

北方へ移轉す

下關驛に於ける火藥爆發の大事以來問題こなり居る下關火藥庫は愈々十一日より向ふ一週間の豫定を以て同火藥庫格納の危險火藥を全部小倉陸軍兵器支廠直營にて北方の火藥庫へ移すここなりたるより陸軍側は素より憲兵分隊及び下關警察署にては適當の箇所に署員を配置し警戒せるが之にて同市民も大いに安堵するここなるべし(下關)

人氣落の鐵と藥品

意外に早かつた講和來から……

多少は持直すだらう=頭痛の店が澤山ある

開戰後發展し來た底知らずに跳上つた諸物價が講和來でヂリ〳〵下落して來た中でも鐵類こ藥品類に至つては一溜りもなく下落して丸鐵五六寸廿圓の十二圓こなり鐵板は十一貫四十圓が廿四圓こなつた殊に甚しいのは藥で百斤二百八十圓が百九十五圓即ち

△百圓方 の下落を示して居る錫は百斤三十七圓の卅二圓で餅の落は免れない之れも各産出本國の相場に比べるこ幾等か下り過ぎた形がある要するに餘り人氣がよかつた處へ其理由こなるべき講和が思つたよりも早く來たのでそれだけに下落が早く又甚しい之は所謂

△人氣落 ちで向後多少は持ち直すであらうが今の處は下る一方である之が爲め内地では既に倒れた店もあるが當地では倒れないこも頭痛八卷の店が大分ある樣である鐵に次いで下落は藥品であるが就中工業用の藥品に至つては逆下しの下落方で苛性曹達が百十二磅四十圓が十五圓亞曹が三十八圓が十八圓曹達灰百磅が七圓五十錢其他は約一二割方の下落を示して居る

小西の缺損 四百萬圓

沒落せる染料成金

沒落せる大阪の染料成金小西喜代松氏の負債は整理委員の手に依つて貸借對照表確定資産千二百九十七萬圓に對し負債千七百萬圓にして其差四百萬圓の缺損に就き十日夜關係銀行團は小西邸に集合善後策を講ぜり(大阪)

勅題と羊

◇下村觀山氏筆◇

殺人犯 脱獄す

白晝小菅監獄を ◇……埼玉で捕縛さる

十日午後二時半頃東京府下南葛飾郡小菅監獄に服役中の殺人犯埼玉縣生れ木挽職長野重安(三七)は看守の隙を窺ひ裏の高塀を乘越え獄衣の儘逃走せり、看守は夫れこ知るや直ちに看守長典獄に

▽急報し 監獄よりは直ちに關係地方並に府下各署に打電して非常線を張りしが、同人は人目を忍びつゝ埼玉縣北足立郡谷塚村字柳島に至りし處を同六時頃同村駐在の巡査が發見取押へ目下鳩ヶ谷分署に護送し嚴重訊問中也

▽二十年囚だ 一看守は語る

右に就き小菅監獄の一看守は語る『私は今日現場に居なかつたので詳しい事は少しも分りませんが、同人は大正三年に入獄した二十年の囚で木挽ですから、獄内でも木挽をしてゐたのです、身元書が無いので平常の行跡も分りません、いま捕まつた所の者を訊問中ですが、同時に脱逃されるかも知れません』(東京)

女一名燒死

前橋大火後報

十一日午前一時三十分前橋市萬町一丁目通稱五十二番地物商の八川久保はな方館より出火し不注意に原因せる火は折柄の惡風に煽られ十四棟十三戸を燒き同三時四十分頃鎭火したるが此際女一名燒死せり

初年兵の感冒

猖獗 高田十三師團管下

高田十三師團管下各隊の惡性感冒は初年兵の入營以來益々猖獗を極め高田步兵第五十八聯隊のみにて二百餘名に達し内重症者にて入院せる者六十餘名步兵第三十聯隊にも肺炎を併發して入院せる者二十餘名あり高田步兵松本步兵にては死亡兵數名ありこ(高田電報)

都野川 控訴す

忠信は服罪

十四日京城地方法院に於て死刑の宣告を受けたる彼の鷄商殺しの都野川義雄は該判決を不服こし十二日覆審法院に控訴せり

▽家族親戚に 謝罪したい

=その期間を得る爲=

右控訴に對し義雄が語れりこ云ふを聞に該判決は既に覺悟せる處にて決して不服に非ずされご控訴期間内に控訴せざれば一箇月以内には死刑執行せらるべくさすれば迷惑を掛けたる家族及び親戚の者等こも面謝罪の期なく尚は遺言の仕度き事もあれば斯く控訴の手續をせるものなりこ頗る神妙の態なりこ尚ほ情婦忠信事今津りようは服罪に決せり

仁川の僞電事件

十三日期米市場に於て大阪高値を僞報したものがある……

◇嚴重調査責任者を糺彈すべし

連日弄騰に弄騰を續けてゐる仁川の期米は正に殿堂相場である何か起らねばならぬこ思はれる危險期であつたが、期米の出廻り期に入つて期米の二月限が三十一圓六十七錢こ云ふ實に八月九月に於ける新古米の端境期の相場に比し

▽五圓も高い こ云ふのは大阪の空米買ひの結果相場の連騰が續いて來たのだけれご事實買ひ方の買煽り相場こ云はなければならぬ、正に殺人相場に近い値を出して來てゐる、果然十三日に於て仁川の期米市場に不穩の

▼僞電事件が 起り買方が如何に相場の煽れ上けに熱中し脱線してゐるかを現はした、乃ち十三日仁川期米の立會は前日内地高のため二月限り三十一圓七十錢——こ云へば實に未曾有の高値で——に寄り付いたその後買方の奮戰により第一節より第三節に至るまで一高一低の小幅を往來してゐたが三節終りに大阪寄の附三十八圓四十四錢の

▽高値なりこ 買方に於て云ひ觸らしたものがある、そこで仁川の相場は一時硬調こなり三十一圓八十一錢の突飛高を演じたが四節を終る頃大阪實際の寄り附は卅七圓八十八錢の入電あり乃ち先に云ひ觸らしたのは爲めにする者の高唱へなる事判明場内喧々囂々第四節の賣買取り消すべしの聲高く

▼買方卑劣の 非難も起つたが取引所では急遽仲買人委員會を開いて約三十分凝議の結果前四節をその儘こし五節の立會を繼續したが相場は急轉直下して三十一圓三十五錢こ僞電の高値に比し四十六錢方の極下を演じたのである、然し乍ら大阪高報の云ひ觸らしは僞電か虚構か誤電か何しろ取引所はその安寧を保つ上に於て

▼嚴重調査し 責任者を糺彈せねばならぬこ云ふ事になつてゐる、或は刑事問題を起すでもあらう、又買方凋落の先驅であらう期米の張り切つた値はコレから崩れるかも知れぬ

進行中の 貨車出火す

[illegible]掛りたる際後尾に連結せる無蓋貨車より出火し折柄の烈風に煽られ[illegible]粉よりなりこ(咸興)

[illegible]藏車の煙突より噴き出したる火の

連絡船上客

十三日

十二日午後入港對馬丸二二等客一等(九名) 岩藤與十郎、居井坂四郎、池田[illegible]

飯塚琅子、永井泰、中村庄次郎、山田の[illegible]

京城中學校 發火演習

=漢江江岸にて

◇十四日早曉より 京城中學校に於ては十四日早曉より漢江々岸なる高陽郡西氷庫及び二村里附近の高臺地を中心こして壯烈なる發火演習擧行の由にて同日は午前六時迄に校庭に集合勢揃ひをなし同三十分發途同七時より愈々銃火を交ゆべしこ云へば定めし大漢江を背景こして猛烈なる白兵戰を現出すべし

仁川の追悼會

故鈴木殉職校長

仁川にては各學校聯合主催並に故鈴木氏の教職を執りし小學校女學校專修學校の各卒業同窓會の主催にて十四日午後四時より仁川寺にて盛大なる追悼會を開き一般有志の參會を希望すこ

憲警演武納會

市内光化門通警官練習所道場に於て十四日午前九時より市内各憲兵分隊警察署員の演武納會を開催すこ

京城高女生の 本社見學

京城高等女學校では社會實地見學の爲め十三日の一日を潰いて四年生は朝鮮銀行及び京城郵便局三年生は東亞煙草二年生は京城郵便局一年生百五十名は中家、矢野、嶋部、橋本四教諭に引率せられて本社を參觀した先づ營業局から編輯局の新聞原稿が如何に取扱はれるかに就て親しく見學の上工場から寫眞部に行つて撮影現像それから銅版になり印刷せらる、迄の順序をして何れも其間の速さこ技術に感歎の聲を發して居たそれから青閣で小憩の上輪轉機活字製造等を見て何れもニコ〳〵しながら一時過ぎ引揚げた

天氣 曇

(十三日午後六時より十四日午後六時迄)

[illegible]

演藝案内

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

當る十三日午後五時半より 溫習會旭扇會支部第十四回 △松[illegible]△小督局(千葉)△赤垣源藏(子嘯)△山[illegible]△廊下(子成)△栗津合戰(子騏)△伏見の[illegible]△へ源吾(子紅)△子[illegible]△本能寺(子照)△南部坂(子光)△清水[illegible]△川中島(子惠)△靈馬の遍(子操)△扇の[illegible]△的(子香)△櫻井の驛(旭霞)△日本[illegible]△菊の礎(旭英)△成盛(旭司)△[illegible]△稲中佐(旭揚)△入場料不要

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(落上)二〇五番

米國ユニヴアサル會社特約 京城小林商會(南部)一手代理店

當る十三日より特作品公開 △實寫ユニヴアサル週報 米國ユニヴアサル社ゴールドシール △喜劇 美人舞踏會 全一卷 △教育參考實寫アーモア 全一卷 米國ユニヴアサル會社 △大活劇 小大尉冒險 全三卷 米國ユニヴアサル會社 バツタフライ作品 △人情劇『無言の婦人』全五卷 ……の雨か霧古に解ぬ美人の胸……

△新喜劇 毒繪具 全 御覧の好き 連續出演

黃金館 電話(晝間)二二六六(夜間)二六三七 當る十三日より全部差替 △實寫ボアの佛車 △藤西 將校公裁判官 △連續寫眞『大秘密』第十三篇 第十四篇 △新劇の家 △觀音靈驗記

浪花館 京城明治町 電話二六〇 浪花節競技大會 當る十二月三十日より(十三日目) △嗚呼天命 △寬永武流傳 △佐野次郎左衛門 △義烈百傑 △新作白來 △須磨の浦松風 △水府公 △京山大多門

文樂座 本町五丁目 電話三三八 十二月十三日より(二回目) 浪花節應用劇高砂家福高一行 前柳生實記二階笠 切阿波の鳴戸 お弓子別れ

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店 當る十三日より新寫眞提供 △實寫ナイル河々馬狩 △川本師一 △活劇『怪馬車』 △新派悲劇『血の涙』全四卷 △舊劇『飛び潮藤』全三卷 △大喜劇チャプリンの大酔 全二卷

大正式製板機 實驗用大割引 本機は事業こして最も有利 二十餘種の製函自在也說明書進呈 東京本所長崎町三ノ日 日本發明獎勵會

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛版 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし 京日寫眞製版部

花屋主中村嘉一急病ニテ九日午前七時五十分死去仕候間此段辱知諸君ニ謹告仕候

追テ葬儀ハ明十四日午後三時自宅出棺大和町淨土宗教院ニ於テ執行仕候

十二月十三日

妻 中村トメ

親族 一同

友人 一同

かぜねつに 一番よくきく キナピリン

奇効 感冒・熱病・頭痛・インフルエンザ・リウマチス・間歇熱(マラリヤ)等に大効あり

價 十錢、廿錢、卅錢、半斤、壹圓

本舖 大阪市堂島 高橋盛大堂藥局

◎到る處の藥店に販賣す

確實賣上け貴金屬

品質の確實 流行に後れず 然して廉價に 提供致す可く 多少共に御用命を

京城本町一丁目 勅奇堂 平井時計舖 電話二〇一番 振替京城一〇六一

[illegible]の大豆及び米を積載し沖合に碇泊せる本船山陽丸に向ひ更に船を以て艀航中風浪の爲め約一里を吹き流され[illegible]

[illegible]司令官松村中將は八日午前九時二十分旅順發列車に著任し海軍[illegible]十分旅順驛列車に著任し[illegible]兵及び文官多數の出迎へを受け

[illegible]ヨリ軍代表者として九日午後八時二十五分奉天に來れるが多分軍需品購入の爲めなるべし（奉天）

[illegible]上陸せし咸興步兵聯隊初年兵中の病兵五十二名其他の貨客を搭載して西湖驛を距る事一哩の地點に差[illegible]したるが[illegible]中破損[illegible]二十名[illegible]桐及び兵士の荷物若干を燒失し損害約三百圓に達せり因に原因は汽[illegible]

[illegible]

◎前年に比して減退せる輸移入品

（二）關税課調査　研究に値すべき好資料

◆絹織物　十月迄の輸入額二十三萬八千餘圓にして前年同期に比し五十一萬六千餘圓を減退せり之れ全く小包郵便に由る輸移入の增加に基けるものにして九月迄の小包郵便及鐵道小荷物便に由る本品の輸移入額（十月分尙不詳）は既に三百九十四萬六千餘圓に達し（內小包郵便三百三十九萬九千餘圓）前年同期に比し二百七萬九千餘圓を劇增せり故に之を通算するときは絹布の輸移入額は著しく增加せり（九月迄の增加額百六十八萬餘圓なり）之が原因は市價の騰貴に依る價額の膨脹與つて力ありこ雖も本品の使用者は主として上流者にして殊に地主階級の朝鮮人は米價の騰貴に依り生計上好影響を享受せる者多きが如く延て本品就中支那絹布の需要を增大せるに由るもの尠からざるなり

◆小包　因に前記小包郵便の輸移入增加は主として輸入するもの增加したる爲めにして同品の本年九月迄の輸入額は昨年同期に比し百六十萬餘圓の激增なり斯く支那綢布の輸入上小包を利用するもの增加せるは（一）普通貨物として發送するときは上海朝鮮間の汽船運賃百斤に付二十五圓九十錢を要するに對し小包郵便に依る時は在支那日本郵便局引受の分百斤に付七圓支那郵便局引受の分百斤に付十九圓六十錢の小包料を要するに過ぎずして兩者共普通貨物運賃に比し著しく低廉なること（二）普通貨物なるときは著荷迄に十五日以上を要するも小包便なるときは五日乃至七日を過ぎざること（三）近時市價の變動甚だしきを以て成可く小數宛仕入れ直ちに發送し成可く手持品を尠からしむる傾きあること等に基因せり。

◆叺繩　十月迄の輸移入額六十六萬一千餘圓にして前年同期に比し十四萬八千餘圓を減少せり然るに穀物及び豆類の輸移出狀況を見るに十月迄の輸移出額二百五十八萬石に達し前年同期に比し四十八萬三千餘石の增加（除國向精米は主として麻袋を使用せるに付之を除外して計算せり）を示し本品全般の需要高著增せりと認めらるるに拘らず右の如く其の品質の改良せられたると內地產は綿腹不足に加ふるに運賃騰貴等の事情に制せられ移出の思はしからざるとに由り朝鮮產入使用高增加せるに基因せり　尙朝鮮に於ける叺及繩の產額は明確ならずと雖も一兩年來共に輸移出上るも漸次增加し大正五年には繩四萬八千斤叺四萬六千餘枚價額合計七千九百餘圓なりしが六年に至り繩二十五萬餘斤十九萬五千餘枚價額合計四萬一千餘圓を算したるが如きは全く產額增進の結果と認めらる

◎平南の生產品と慶北共進會出品

（三）平壤商議所開城調査主任談

過般慶北に於て開催せられたる共進會に於ける出品に對し之を平安南道內の生產品と比較するに

◇農產品比較◇

◇米　總出品點數二千三百八十一點に達し內改良種七割を占め殆んど在來種の影を止めず優秀なる統一的品種の整然たる陳列振は流石に米產地たるを失はず然れども粒形の不整、色澤の不純等尙努力を要すべきものあるは單に慶北の夫に止らず朝鮮產米改善の共通點なるを思はせらる、その產額に於て大正六年度の現在を比較するに慶北十二萬六十六町に比し平南は五萬五千八十一町步の即ち六萬四千九百八十五町步少く慶北の百四十九萬四千四百七十九石に比し平南は四十八萬三千八百三石即ち百一萬六百七十六石少し之に由つて之を觀るも我平南の產米は遠く慶北に及ばず而も其收穫高に於て慶北は一反當り籾一石二斗四升七合に對し平南は八斗九合に過ぎず勿論此は氣候風土の關係上南鮮の有する天惠に對して到底西鮮地方の及ぶべきに非ざるも尙一進步を企圖せざるべからず

◆麥　總出品點數一千八十一點あり內大麥六百十點、小麥四百七十一點にしてこの產額を比較するに左の如し

		作付町	收穫石	平均合
大麥	慶北	五九、四四四	一、〇三〇、五〇五	一、〇八〇
	平南	三一、三四四	二三一、一五一	七四三
小麥	慶北	三五、一四八	一五六、八二一	七三一
	平南	三九、三四三	一四六、六八三	四九九
裸麥	慶北	九、三四七	六六、一五三	七〇六
	平南	二二、二七〇	三三、〇四八	五四一

即ち麥に於ても平南の到底比肩す可からざるは耕地面積其の他の農作に對する素質に於て遠きを異にし同日に語る可きものに非ずと雖も一反步當りの收穫量に於て遠く及ばざるは今後一段の改進を要する所也然して出品中カリフオルニヤ種の中には優秀品多きを見受けたるも未だ製粉事業の勃興を見ざるは遙に小麥產額の下位にある我平南に同事業の旺興せるに比し一見奇異の感なき能はざるも平南は內第一の小麥產地たる黃海道を控へ居れるが爲めにして慶尙南北道を合するも平南黃海二道を合せたる半額にも達せざる狀況なれば販路の關係等に於て平南は朝鮮唯一の製粉地たる位置に在りされど小麥集散並に內地粉に拮抗すべき近時原料小麥の暴騰と麥粉の市價釣合ざる所に滿洲粉の侵入するあり當業者の苦痛甚だしき狀態なるが今後朝鮮の製粉事業發展の爲には優良小麥の增殖を必要とすると同時に當局に於て適應なる保護を附與せざる可らず（未完）

◎遼陽棉花會社

南滿沿線中地味豐沃を以て聞ゆる遼陽縣は太子河、渾河流域に跨り甚だ廣汎なる區域を有せるが古來特產物として高粱、棉花の栽培盛んにして遼陽を以て集散市場となし東西に需要は喚起しつゝ有り時に棉花は在來棉なるも纖維細く長く腐亦强靭なるが爲め紡績製綿業には最も好適なるより過半は常に地に需要せられ其餘は南北滿洲に仕向けられつゝ有るも特に永く遼陽に在住せる邦人磯崎某氏外數名は數年來之が取扱ひを爲し居るより將來都督府、滿鐵の產業方針も有る事とて愈々積極的奬勵法を講じ生產の增加を圖り益々地方的殖產の發展を期待せる計畫に基づき這般來之等同志者を糾合し遼陽に一の製綿を目的とせる資本三十萬圓の棉花會社を創設せんとて奔走中なりしが愈々協議纏り發起者を沿線に求め先づ第一に大連の綿布商村田某の贊成を得て一株四十圓四分一拂込六千株公募一千株殘株發起人贊成人引受の相談にて來る廿日より一般の株式募集に從事し愈々成立に着手せりといふ（遼陽）

◎朝鮮に於ける簡易工業

（二）理學士　橋爪郁氏談

新式柞蠶絲製法

柞蠶絲は主として支那芝罘を本場とし朝鮮にも製造せるもの無きにしも非ざるも多くは原料を彼の地に輸出し再び加工されたものを此方に輸入して居る有樣だ本所では現在に產する柞蠶繭年四千粒を朝鮮で製絲織するの急務を感ずると共に從來の支那式製法に一大改良を試みんとした結果一新式法を發見するに至つた此の方法に依れば其の製絲法に於ては纖維が强靭で落緖が少く絲枠の回轉が速くて一日一釜の功程を早める事が出來步止まりが五乃至十パーセント多く爲る又品位の上からは强力の其の彼に優れるは云ふ迄も無く毛節少く抱合良く色澤も艶も良く漂白が容易である上に水に逢つても收縮することが極めて少い爲めに柞蠶織は織物の代用となり又二重代用品を製織することが立派に出來るのである然も生產費は四百二十四圓四十四錢に對し三百八十七圓三十錢を以て足り朝鮮產四千粒の柞蠶を製絲することとして收支決算一年九千二百九十七圓餘の差額を生ずることになる

麻代用の新羅織

朝鮮人は貴賤の區別なく夏季の常用として麻織物を賞用する主として家內工業に依つて居るのであるが忠淸南道と慶尙北道江原道地方で織に製織し年額二百餘萬圓に達して居る然も之では未だ不足で年々支那製品の輸入さるゝもの百五十萬圓に達する有樣だ何れも手紡麻絲で一疋製織に五十日もかゝるのだがその不經濟なるは云ふ迄も無く麻布を常着とするは貧乏國の朝鮮としては聊か贅澤と云はねばならぬそこで種々研究の結果本試驗所ではこれが代用品を製織し新羅織と命名し世に紹介したこれは綿織と綿麻交織の二種で綿織は經緯ともに綿絲を用ひ交織は經緯は手紡麻絲を用ひたもので製織法は唯硬化絲の供給が十分でありさへすれば何れの地方でも容易に然も安價に製造する事の出來るもので此綿麻交織を從來の純麻織に代用した丈でもその產額は倍加しその製造は五分の一の日數で完成するを得、製品の見榮と趣味と耐久性は常用者の等しく賞揚せる所である之れを周衣として試用せし結果に依ると在來品は二箇年に三季を要したものが此方は一年一季で足るのみか來年に廻すこと云ふ現に京城及び地方からの注文があるので本所では科學部の一事業として製造せしめ尙需要を十分に充さん爲民間獨營者に硬化絲を送附して製造せしめてゐる

◎支那兵の强盜殺人事件と今後の賊難根絕策

匪賊上りの兵丁と滿洲名物の馬賊

◆去る五日午後五時五十分頃を期し奉天城小西門裡大街錢莊今井某方に支那兵士韓起鳳外二名が襲ひ數百圓の金錢を强奪して逃げたため我警察官に逮捕された事は近來大に注目に値すべきことである

◆從來滿洲地方で草賊匪賊馬賊の爲めに生命を殺し財產を奪はれた日本人は決して尠くないが何分相手が相手であるのみならず支那の警察の力が充分に滲透し難い地まで及んで居ないから彼等の跳梁跋扈に委するのみならず犯人の逮捕すら出來ず果ては日支間の交涉問題を惹起し兩國の親善を阻害した事は幾多に尠しきものである

◆惟ふに今回の事件の如き未だ日も暮れぬ午後五時過ぎに繁華な場所で支那官兵が斯かる兇行を敢てした事に對して世人は意外に思ふであらうが實は大に理由のあることである

◆元來東三省各督軍は毎年高粱の繁茂せざる以前に多數の官兵を賊の討伐に出張せしめるが一向に賊徒の跳梁が已まないのに就ては時に賊徒の投降を勸告し向ふが降參すれば相當立派な官兵としてやる道り口を拵へると成程といふ合點がゆく

◆況んや某大官が或時北京公會の席上に於て官兵中に賊徒のあるを公言して憚らなかつたこと或は吳督軍は某國領事に對して馬賊は滿洲の名物だと稱して平氣でゐる等のことを思ひ合せたら愈ソコに合點がゆく事であらう

◆逮が話は前に返るが奉天城內外は毎日劇しく交通する事が困難で又城內に於ける我警察力といふものも極めて薄弱なるものであるに拘らず城外に於て犯人を逮捕し得たのは大に其功を多とせねばならぬ

◆一體支那の都城には城壁、關門等を設けて外界との交通を無視してるのが昔ならイザ知らず今日になつて列國人と共に伍して行く以上は宜しく門戶を開放して自他の利益增進に努むべきの時代ではなからう歟。既に上海と云ひ天津と云ひ此の城壁關門を破壞して一般大衆の交通の便を開いてるではない歟。

◆奉天なども今や其の時期に到達して居る、此の城壁關門を開放するのが一日遲るれば一日以上の損失を蒙るの時代となつて來た。彼の電車問題となつてる馬車鐵道の如き此れに對し支那側も日本側も多くの期待を持たなかつたが現在では毎日多大な利益を擧げ豫期以上の好果を得て居る、そして一般は是れが改良を希望して已まない狀態である、

◆然れども奉天の地としては今尙鐵を以て滿足せんとする樣では駄目である、宜しく電車に換へて城の內外を論ぜず交通運輸の便を計らねばならぬ時期が來たのである、と同時に話は一寸橫道へ這入るが撫順に動力供給の源泉地たる……この交通も容易にせねばならぬ時期が來た……現在の如くお隣の奉天とも關係を顧慮せず專ら大連との連絡をのみ主とした行樣では撫順奉天相互の不利益は今更多言を要せざる所である。

◆で話は又々後戾りをするが、此の電車問題も只電車のみを目的として論究してる許りでは思はしくあるまい、要は城壁關門を開放するかせぬかに歸着しはせぬかと思ふ、愈よ是れを開放すると事が定まれば電車問題の如きは自然に解決が出來るのである、是れ日支相互の利益であると共に日本側として城內居住者の保護に對して今一層の安全を確實と[illegible]明する事が出來るのである、城壁城門の開放は單に奉天のみの問題ではない

◆惹いては地方に於ける我勢力の及ぶべき範圍を擴張すべき所謂滿洲の共利的福源開[illegible]上に至大の好結果を與ふるものである、是れは單に日本側に利益である許りではない、支那側の蒙る利益がより大なるを支那側として十分に了解せねばならぬ。

◆此の意味に於て今回に於る支那兵の强盜殺人事件は實に重大事件であつたと共に其被害者は日支兩國に對して大なる犧牲であつたと云はねばならぬ、萬一日支間互の利益を增進せしむる事が出來なかつたならば此犧牲者に對し何と[illegible]、單に奉天の一角に起つた小問題として出來るものとしたら好いだらう歟。是非とも[illegible]味に於ても意義ある解決を與へたいと思ふ（老宪生）

◎蒙古の眞相

蒙古貿易は愼重な研究を要す

…行つて見るには相違なきも事實は世評と大に異れり…

一年の生活費　僅か四圓にて足れり　萬事が萬事で

噓はこの利益は迚もない世人が能く蒙古蒙古と云ふが此處に語らんとする蒙古とは先づ東部內蒙古附近の事であると限定して置く、で先づ大雜把に此の邊の狀態を列擧して見ると住民の多くは水草を追うて放牧をやつてるもので其生活狀態などは殆んど御話にならない程低級なものである、家らしい家を持つてるものは殆んど居ない、大抵は天幕內で寢たり起きたりしてる、其の財產は水澤の遊牧草の中に放たれたる羊や牛で他には何ものをも持たないのである、食物は此の牛や羊の乳と斃死した是等獸畜の肉が普通である、極上流社會になつて始めて日本の神の樣なものを水と一つ緖にして食ふ位の事で麥粉とか何とか云ふものは一年中お正月に一人が一握りも食ふ事が出來れば夫は絕代の喜びであるから居住と食物には殆んど一文も要しない、只着るに若干の金錢を要するが其れとて極めて簡單であるから平均一人一年の生活費は大抵四圓あれば十分であると聞いては一寸驚かされる

現在の蒙古貿易

こてもくお話にならぬ前記の如き原始的な、低級な生活民を相手にして一體どれ丈けの貿易が行はれるものであるか將た又どれ丈けの利益が得られるか、此の狀態ではテンデ蒙古の經營も貿易の進展もあつたものではあるまいではない點、乃こで一寸蒙古貿易杯と云へば非常に威勢が好くつて大袈裟に聞ゆるが事實は行商人に過ぎない其の貿易業者は

如何なる徑路　抑も如何なる方法で

蒙古貿易に從事してるかを紹介に及ぶ事とする、蒙古貿易の要衝と云へば何人でも鄭家屯、錦州、張家口等を第一に數へるであらう。其の要衝の何れかで貿易業者は物資を整へて例の支那馬車に積載して奧地へ向うて例の水草を追うて轉々してる一年四圓の先生方と貿易を行ふ、其の跋涉する

地域は極めて廣く　時日も頗る長期

に亘るけれども其の貿易品の數量なるものは先刻御承知の通りの支那馬車の數臺に過ぎない何故なれば水草を追うて放牧を行ふ住民であるから內地式の集約的牧場を豫想する樣な事ではお話にならぬ、で此の一聚と他の一聚の距離間隔は少くとも

拾里や拾四五里

はある、乃こで嫌でも應でも廣漠な地域を跋涉して時日も長期に亘らねばならぬのである而して之と同時に人口稀薄の地であり且つ金錢を多く持たぬ人を相手の仕事であるから賣上高は比例して多數に上らぬのは理の當然である、故に只

こけ脅どかしに

蒙古貿易は有利であるとか何とか云うて人心を唆る樣な事を並べ立てるのは大要次ぎの如しであつて殆んど耳を藉すに足らぬものである、曰く利益が幾倍になるとか商品が何倍になる、或は蒙古の物資を持ち歸らば是れ又幾倍に販賣が出來るとかであるが要するに素人欺しに過ぎない、況んや不毛の地で危險極まりなき地域を踏破し且つ蹰れざる者到底日本人には

辛抱の仕切れぬ

生活の方法で僅か少量の物資を交換的に貿易を行ふのであるから其困難は並大抵ではない、若し之れが容易であつたら鄭家屯や張河口は既に一大對蒙貿易地となつて居なければならないではない歟。然らば又

蒙古有望論者は

其の土地の肥沃にして且つ廣漠なる事などを稱するであらうが決してそれが其のまゝ通る許りでもない、成程土地は廣漠たるものであるけれども耕地に適する土地は砂漠と沙漠との間を狹く長く帶の樣になつてる極めて狹小なる地域に過ぎない、此の氣候風土習慣趣味の恐くが出來してる土地で

果して日本人が

土地經營の衝に當る事が容易であらう歟、彼の朝鮮の農作でさへも兎や角の評がある今日ではない歟是れに依つて見ても決して蒙古の土地には多くを望まれまいと思ふのである

然らば牧畜業は

こいへば是れ亦至極困難な事に屬する、況んや良種改良に於てをやである、此の如く列擧して來て結論は予を目して蒙古の前途を阻害し其の開發進展を呪咀するものと思ふ人もあるかも知れないが予が是れを記述した眞意は徒らに其の聲の美なるに迷うて蒙古へ行きさへすれば金の茶釜が何處へでも轉がつてる樣に思つて出掛ける者に對して豫め警告して置く譯である（奉天にて老宪生）

◎五十幾個の爆藥一時に破裂す

◇內鮮人死傷者十餘名◇

去る九日午前四時頃三菱兼二浦製鐵所構內熔礦爐事務所附近より製鋼工場に通ずる約一町餘の隧道開鑿中人夫中に火藥爆發のため死傷者を出したることは既電の如くなるが今其の詳細を記さんに爆發の箇所は隧道西口より約五間位入りたる箇所にして該工事は橋本組が請負居り岩石あるを以てダイナマイトを使用したるに九日夜同組の下光武、久左右門（三〇）及び工夫若林彌吉（三二）工夫金八用（三八）三名外數名當番にて岩石に小穴を穿ちダイナマイト裝塡して導火線に火を移し第一回は完全に岩石を破壞し得たるが第二回目に至り過つて爆發したるものらしく夫れがため傍にありたる五十數個のダイナマイトが一時に破裂したることゝて轟然たる一大爆鳴と共に前記三名は即死し附近にゐた二名の鮮人は重傷を負ひ生命危篤にして其他數名の輕傷者を出したるが急報に接し兼二浦駐在所より武隈部長以下數名の警官及び森醫學藥醫師駈付け負傷者に應急手當をなすと共に即死者の屍體檢案をなしたり（兼二浦）

◎天然痘發生と仁川の豫防法

仁川にては最近府內及び郡部を合して十一名の天然痘患者の發生するあり此際之が豫防に就ては充分なる注意を要すべきものあるを以て仁川警察署管內は普く種痘を勵行する事となり患者發生地附近は既に施行せるも其の他の部分に就ては左の日割を以て施行すべしと因に種痘を要すべき者は生後三ケ月以上を經過せる未種痘者及び善感後五年を經過したる者又は病弱にして不善感なりしもの等なるが今回の患者に就て見るに罹病者は幼年者よりも寧ろ中年以上の者に其多きを見るを以て此際一般に種痘を爲し置くの要あるべしと

（十二月十二日）花平里（派出所）（十三日）新花水里及び畓石町一部（花平里出所）（十四日）龍岡、龍岡、山根町（派出所）（十五日）[illegible]能德方にて）（十五日）松峴里の全部（普通學校にて）（十六日）花町、敷島、桃山、柳町（栗殿寺にて）（十七日）稅關及び仁川驛構內勞働者（各所內にて）（十八日）各精米所

以上は朝鮮人のみに限る內地人は各所の醫師に就き種痘すべきものなりと（仁川）

◎仁川の種痘

◇天然痘發生に對して◇

天然痘豫防の爲め仁川に於ては去る十日以來鮮人一般に對し種痘を勵行しつゝあるが內地人に對しては十三日より十五日迄の期間市內各開業醫に就て接種方申出づれば無料にて種痘する事に協議纏まれるを以て希望者は最寄の醫師に就き種痘するを要すべし

ホシ人參製劑

肺病患者の理想的營養劑

肺結核菌は白血球の爲めには忽も死滅す

肺臟を侵す細菌は肺結核菌を初め凡て非常に兇惡なる性質を有するものなれど、血液中に含有する白血球に逢ふ時は、忽然として生存力を失ひ、死滅するものなり。血色澄潮たる强壯なる體格を有する人が、肺病に侵さるゝこと尠きはこれが爲めにして、斯くの如き健康体を有する人は、其血液も豐饒なるを以て又白血球をもつて肺病菌に抵抗する力强靭なればなり。されば肺病に侵されたる人は、其積極的救法として、先づ血液を增補するに努むることを忘るべからず。

本劑の效能は

肺病＝老衰＝神經衰弱
陰萎＝營養不良＝貧血
腎臟炎＝神經痛＝ヒステリー
リウマチス＝子宮病＝血の道

本劑は肺結核菌に抵抗力强靭なる血液を增す

等に卓効を有し、肺病（結核）菌に抵抗する處の白血球を含有する健全なる血液を補增するが故に、本劑を服用する時は血液の循環を速進し、生氣溌剌たる血色を起さしめ肺結核其の他一切の肺病を治癒せしむる外寒氣冷氣に抵抗する力を强靭にす。而してホシ人參製劑は藥用朝鮮人參の世界的本場たる朝鮮開城產の內より朝鮮總督府顧問三宅博士が、純良なるものを選擇し。之を化學的に精製したるものにして各種人參製劑中の最高權威なり。

種類	
ホシ人參丸	五十錢　一圓　三圓　五圓
ホシ人參錠	五十錢　一圓　三圓　五圓
ホシ人參末	五十錢　一圓　三圓　五圓
ホシ人參エキス	五十錢　一圓　三圓　五圓
效能は何れも同じ	

東京京橋　星製藥株式會社
電話京橋一七八五、三〇二〇、四一七
振替東京二〇五二二

人參培養の年數と苦心

人參は其の効能の卓越せるばかりかその培養上の苦心から見ても非常に貴重なものである。初め藥用人參の苗を培養して、それを畑に移植してから、採取する迄には約八年の日子を費さねばならぬもので、其間に於ける培養上の苦心も又各別むづかしいものであるから、價の高いのもそれが爲めであるが、世界に產出するものゝ內で最も高價なのは朝鮮開城產のものであつて野生の純良品になると一本千圓から三千圓位のものは珍らしくない。又最も安價なのは日本產出のもので、その價は時價に於て朝鮮產の十五分の一位にしか足らない。

豫報　少雪

前日最低溫度　氷點下九度八分

[illegible]

商況

東京株式特電

十二日前場	寄付	止め
東株	……	……
同新	一四〇、〇〇	一五五、八〇
商船	……	一〇四、三〇
同新	……	一三三、四〇
郵船	一〇三、一〇	……
同新	一〇六、五〇	……
東汽	……	五六、四〇
鐘紡	……	三三七、〇〇
富士紡	……	九八、七〇
寶田石油	……	一〇六、九〇
横濱取引	……	……
新高製糖	……	一二〇、一〇
北海炭礦	……	……
滿鐵	……	……
同新	……	一二〇、一〇

東京現株中値

十二日	十三日着
東株	二二〇、〇〇
同新	一九五、〇〇
朝鮮銀行	一六〇、〇〇
同新	……
南滿鐵道	一四〇、一〇
第一新株	一〇八、二〇
第二新株	七〇、五〇
南滿製糖	……
朝鮮製糖	……
滿洲製粉	……
京城電氣	五七、〇〇
朝鮮瓦斯	二三、〇〇
郵船	二〇〇、〇〇
同新	一〇三、五〇
商船	一九九、〇〇
同新	一四四、〇〇
鐘紡	二六四、〇〇
同新	二四〇、〇〇
東拓	……
朝鮮釀造	……

東京期米特電

十一日後場 高値 三十八圓三十九錢 安値 三十八圓十八錢 止め 三十八圓二十九錢

大阪株式特電

日後場	寄付	止め
宇治川水	五五、〇〇	……
京阪電鐵	五五、五〇	……
東洋紡績	五四、〇〇	一六四、四〇
合同紡績	五〇、〇〇	……
鐘淵紡績	五三、〇〇	一四三、四〇
同上新株	四四、〇〇	一三五、〇〇
東洋製糖	五〇、〇〇	……
大阪商船	三一、五〇	一〇一、一〇
同上新株	五四、〇〇	一三六、八〇
郵船株	五〇、〇〇	一九九、八〇
同上新株	五四、〇〇	……
堂島米穀	五〇、〇〇	……
東京株式	五三、〇〇	……
大阪株式	五四、〇〇	一三三、一〇
同上新株	五三、〇〇	一九三、一〇

大阪三品特電

日前場	
十二月限	三四五、九〇
一月限	……
二月限	……
三月限	一
四月限	……
五月限	二九九、七〇

大阪期米特電

十一日後場 寄付 三十八圓十九錢 高値 三十八圓十九錢 安値 三十八圓〇九錢 止め 三十八圓十九錢

兵庫期米特電

十二日前場 先限寄付 三十八圓〆六錢 三節 三十七圓八十八錢

下關期米特電

十一日後場 寄付 三十八圓四十七錢 高値 三十八圓四十八錢 安値 三十八圓三十四錢 止め 三十八圓四十八錢

雜報

十二日前場	當限	中限	先限
寄付	三五、八〇	三六、三六	三七、八〇
高値	三五、八〇	三六、三六	三七、九九
安値	三五、八〇	三六、一〇	三七、八〇
止め	三五、八〇	三六、三〇	三七、二三

◉石油限先入荷

石油は上海亞細亞石油約六百箱、日本石油切日來の他若干の入荷ありしよ米油は近かく新規の輸入ある豫定に

英油

又貨車の配給を待つて釜山より順次移送せられん模樣なるが何分現在品排底に際し少數の入品は協らより消化せらるゝより未だ相場の下落を見ず 上松十四圓五十錢内外 石油 龍函十三圓五十錢見當を唱へて依然高値を持し居れるが一時品高と供給不足に注文頻發せし北鮮方面も昨今漸く荷間(地方輸送の緩和)に閑散を告げ來りしより米油も近かく制限販賣を解除すべきを期待せられ今後の入品と待つて次第に軟化を免がれざる形勢なり

◉內地製粉近況

人氣浮動して伸び悩み居れり製粉は北陸米高進に小麥の騰貴を材料に聯級筋の進み續け氣配漸騰を示し十日午前中には遂に新天十二限四圓九十錢同一限八十五錢同三限八十四錢同一三限共四圓九十錢迄昂進し目先き筋高模樣なり蓋し原料は生産過剩の有樣さて該米價騰貴に麥安さ其歩調を一つにする理由なく何分米價の緩騰により食料品は一般に頑強の成行なれば本品も茲相當の上進は止むを得ざるべく而して七日の市況は十一限四圓四十七錢より天十二限四圓七十錢同一限四圓七十七錢安値四圓七十二錢高値同一限四圓七十五錢同二限四圓四十七錢 [illegible] 七十三錢高値七十七錢一限四圓八十五錢 [illegible]

◉砂糖上望み

砂糖は其後格別の變動なきも各製糖會社は平和後の好況を見越し頗る強硬の態度なれば當市中さしても此處年末の賣行き如何によりては會社相互との探捨を離れ上んとて出屋筋の氣頗る強し 四〇七十三錢高値八十錢同三限四四七十四錢より八十錢四圓七十九錢同四圓七十二錢同五限四圓七十錢錢七十二限四八十錢竹現物四圓六十八錢等約十萬一千五百袋の出來高を示したり

◉空罐と空樽

石油の空罐は賦力價格の暴落と豆油の不振に連れ大市場の指値下落せし爲め當市中勢も一時九十錢台に上りしもの昨今にては六十二錢を唱へられ尚眼先下押しの不防な進り空樽の如き稍や期の經過と醸造筋の買控ねに相場一停滯せるの觀ありて一圓以下の見當なり瓶類は品薄と商新製品の底強き關係より以外に底堅く麥酒瓶二十五厘特酒一升瓶十九錢より二十一錢前後ブランデ瓶等は九錢内外を唱へ居れり其他藥品瓶も案外に手堅き況商なり

下關場相

▲朝鮮米(小靴) 白米千九百叺及び同玄米千二百九十叺の入着ありしが前日內地米の入津薄なるに依り之れが補給として勢ひ仲方筋乃至地場當用共可なり望取りありたる爲め不相變相場は氣丈な持續し當用塊口四十三圓七八十錢より小口四十四圓來月物四十二圓を以て手合せ行はれしが玄米は先約品乃至定期掛米等に充てらるゝものなるよし ▲大豆(好弩) 元山新物七百五十叺等の入津に過ぎざりしも滿洲產は有力なる大手筋の輸出商談成立せる噂あるさ共に近き將來に於て外滑みの立つる事は到底不可能に屬すべきの氣構にて市場は依然高製物品の振合を呈し矢張り人氣好勢を告げ元山新物二十一圓四十錢三百叺大口新二十一圓三十錢山小口二十一圓五十錢より上品八十錢等にて三百叺を出來し前途意外の高値を含み居るらしい如くうるかわる ▲小豆(保合) 入律は滿洲產四十四圓さ中白小豆二十袋の着ありしが產地もさかく手堅き情況に手控筋氣張れるため更に弛まずして何れも左の如く相當商行を呈しつゝあり ▲朝鮮新白米四十三圓七八十錢 ▲同 四十四圓 ▲朝鮮黑豆 廿五圓

各地商況

▲玄米(保合) 市場米正は出廻り依然堅調にあり昨日内地期米漸く持直しするが昨日十九錢と新高値を示し大阪三十八圓十九錢と新高値の入電あり一時人氣の昂進を見たるも高値に反落米の爲め自然人氣移し薄が前場無成立にて買進みたる傾味なり ▲大豆(平靜) 前場後右向地氣配は依然出合閑散なれば小口仲方三十三五十錢にて少しも買取られ賣物は又十五錢に下りしより人氣の昂進なく反落の形勢を示すに至り ▲新米(反騰) 尚相當後見の商狀なり

▲大邱新大豆 廿一圓廿錢
▲大田新大豆 廿一圓二十錢
▲元山新大豆 廿一圓三十錢
▲同 廿一圓五十錢 廿一圓八十錢

墜落さ三十五錢と混亂 目二十九錢より

の延期したるが前次の如き事情にて四十二十九錢より墜落き三十五錢と混亂

裡に打止り

▲前場當限 三十三圓六十錢 ▲中限 三十二圓 ▲先限 三十一圓七十錢 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川本町 齋藤榮之助 電話長三二ノ一 又 サ

釜山物市場 十二

▲新米(反騰) 昨十一日は廻着米增加し賣り物過剩となり先き安を氣構へて買方は進取せず買方も逃避高の爲め安くは手放なさず相方見送りの商狀にて市況頗る閑散にして五六十錢方下押しなりしが今朝市場に於て十六日九十錢と久々に關門割れを示し跡氣配も至極軟弱なり ▲大豆(十氣) 前場後右向地依然買鈍れるため當地さして人氣引立たず買手の付值漸落の模樣なるも安値は荷主手放し渋り居れり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 天 仲買店 電話長四〇四番 電話アテ(取引)

て出來ず只昨日の内地期米の高かりしに精米筋も可成り買込みなく反撥的に奔騰し五六十錢方の高値を呈し別項相米値の通りにて 午前中十七八千叺の商內行はれ市場頗る殷賑を極めたり ▲吉米(商事) 最早賣り物として小口の外ら現はれつゝあるにては小口の出廻りなく三十四圓見當が過ぎず商内至つて不振にして市況も別段變りなく漸く賣方手合せ行はれつゝあり

京城正米市場

天候不良にして出穀薄く賣人少く賄し騰るなりと雖も買人の一齊引かれ氣配は昨日より更に一錢安く市場の附出しは玄米三百四十圓最高三十三圓最低三十二圓二十錢なり

仁川正米

精米の入荷益々增加せられ三四厘安の入錢六厘見當なるも買方見送り居れり 正米の出廻り弗々現れ仲力三等合格三十四圓二三百見當地指玄米三十 圓見當にて商談か出來せり

生魚市場

◎京城日丸市場 本日は少數釜山物のみにて之に補項鮮の若幌を加へたるのみにて各品荷薄の爲め豫配高く客にタイは一層惡附にて急騰せり △たい八〇△ちぬたい四五△さわら四〇△ひらめ二三△いわし二〇△あなご一八△さば一八△さより二五△たこ二六△甲いか一〇△たら一〇△こち一九△さごし四〇△から二二△小物一八

仁川期米

十三日前場(上放下押)

第一節 各地入電未着なるも前日大阪の高止めを移して人氣頗に當限三十三圓六十錢中出來不申 先二十一圓七十錢と二十錢高 第二節 當三十三圓五十錢中出來不申先六十四錢より二錢と押し寄付錢物押し現れ六十四 第三節 當三十三圓五十錢中出來不申先六十三錢より六十錢さ押し三錢と返し引 第四節 當中出來不申先六十四錢大阪の高移りにて入十錢と跡返し七十八錢七錢入にて七十錢と跡人氣を唱へ 第五節 大阪寄移り唱ね七十六さ押し入大阪の報道にて立寄

大阪寄付三十八圓四十錢の入電 強氣筋の虛報

引跡大阪後寄三十八圓十二錢高十八錢三節十九錢五節〇九錢六節常出來不申先三十七圓九十九錢先三十八圓四、二節十六錢東京三節三十八圓四、二節六節四十九錢兵庫止め三十八圓三十一錢 今朝天候晴天各地入電未着なるも前日大阪の止高の受けて人氣強く立會は先限三十一圓七十錢さ二十錢高に寄付しも因説◎共他より利喰的賣に現はれザりゃなの六十錢さ下押せしが四節入り大阪寄付三十八圓四十錢の入電にて各店買進み八十錢と跳返し當物現はれ七十六錢引け五節に入り七十七錢更に大阪寄付三十七圓十七錢さの入電ありしより前電の三十八圓四十錢

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 窪田政太郎 電話長一三〇九番 自宅六〇一番

市場雜觀

昨大阪前場寄當三十九圓二十九錢中三十八圓六錢先三十七圓九十二錢止め東京三節三十八圓三十十九錢兵庫三十八圓四十八錢六節十九錢下の關三十八圓同先八十九錢 [illegible] ▲昨後場不少の氣先大阪の高移りて手堅く立會は先三十一圓五十九錢さ五錢高に始め漸次各地の入電未着にて賣方手控の折柄殘る三十四錢さ押し其他より賣物與り現はれ再び一錢目先で相場は [illegible] 俄然三巴ヤタ始めさした大正◎他より賣物現れ五十ヤよ [illegible]

目せらる遂に市場の問題

れは約三十分か費し取引所及仲買不良協議の結果四節立會停止五節立會も事情の如く分明し之が爲め五節立會をなしたるも是非も無かりしは取消さる、さすれば夫に依りて市場へ起り之か問題さなりしも、四節引け八十錢より四十錢と始まり更に三十錢と戾し三十五錢と不落したるか跡四十錢と五節立會は如何に

一派の爲めに捏造 誤電か虛報

氣配轉し一ほ問題に對する如何なる措置なり、之は前記電報の散布を告げたり前記の電報は四節同時の八十錢よりの出所に屬するか或は一派の同意を得んが爲の流言なりしや否や若し右の如くならば市場の取引に關するは大公明大なる措置を採る事不正に限る方針にても宜しく彼等の擅拒にて得たる以上は其相當の取扱を受くるは常然の事なるべく其日所及事の責任者にて如何

仁川米豆取引所 十三日の二月限

前場	寄付	止め	高値	安値	出來高
	三十一圓七十	三十一圓十五	三十一圓八十	三十一圓五十	[illegible]

平均相場	一節	二節	三節	四節	五節
	三十一圓六十	三十一圓六十	三十一圓六十四	三十一圓七十	三十一圓七十六

十二日後場 高 一二 安 一〇九 [illegible] 前日との比較

堂島だより

▲昨今の堂島市場は賣方の主力たる三品限渡米手當の成らざるを見越して地場強氣筋岡半打等の極力買煽あげ試むる一派の氣勢をなし相場は當限の如きに至る幾何を四十九圓の關にも今一と息に迫りたる形勢と相成候一派のナイモノ買は漸く人氣高め共に一派の注目を惹き本日出ほくに最早餘日も少なく米の大擧に於て相當の十年振なりし處近き待つて此際之れに対向情なき次第に一段の唯色ある事はん迄する軟派に乏しく就も西山を首め地場筋小河等は當地は勿論神戸市場へも幾分の賣建を爲し前途の反動安を見越しつゝある模樣に候へども未だ時機の熟せざる爲め自重し居る現狀に有之候然し強氣なる一部に於ても最初二段も買餌らしめ其昇を狙ひさする向あり今後の行動注目に値すべく候而して一般の人氣は低迷中にて諸物價も暴落又暴落商品市場には不勘動搖を生じつゝある折柄タへ期米は先限の先をなす程の注目の値を期待相場の寄せ總じて出來物に乏しざるやを寄せ候も中途逐に捕獲き候ゝ安値及立ちしも大に乘ぬ▲今朝は政友會代議士にして市場通なる小泉策太郎氏が堂島の取引狀況視察するありて早速は何かさ攝踏臆測を逞ふし居り候ひ氏の視察目的に就ては何等の目的も相見え候もの當地の小泉氏の時節柄注目を要すべしと存じ候(十二月十日)

白米標準値

三十八圓

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金 高田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一〇〇 電話長一一九 振替三八二一 ◉前金御注文は紹介なき不要 ◉營業案內及電信略號表進呈 電信略符タツ

毛谷村六助 廿六番角力 八十八席

桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

傳法寺兵庫は名島の變事を聞いて早速所々兵を出し、自分も紺絲の鎧、菖蒲草摺は白絲を以て綴たるを着用爲し、同じ毛絲三枚錏の兜を高紐に結びなし、白髮頭に綾を爲し、七寶透しの小手を踏しめ、此の人天下自慢の品がございます、火の車の指物、二間柄の槍を小脇に搔込み、部下二十名ばかり引き連れて奥御殿へ乘込んで參りました、是は安藝寺奥方こは云ひながら孝高の娘八重姫、親子同意を爲して計つたに相違ないこ思ひましたから、八重姫を討たんこいふ心底、傳法寺奥殿へ來て見れば、多くの召使ひの女中は何時の間に下げましたるか、誰も居りません、御居室の樣子を見れば八重姫は白綸子の衣類、髮は後に下げ、水晶の念珠を爪繰り、布を以て膝を卷き、如何さま見苦しき態を現はすまい爲の八重姫の覺悟、八寸三分の匕首を右手に取直し、當年三歳になる友千代丸を引寄せ、今や咽喉を刺し貫さんこいたします樣子、スラリ開の襖を押し開けた傳法寺兵庫 兵『暫らく／＼お止まり下さるやう』八『誰じや』兵『兵庫でございまする』八『兵庫か、妾南家繁昌の爲を思ひて來り甲斐もなく、友千代こいふ子まで擧けながら、如何に亂世こは申しながらか、ゝる事を企らみ、實に憎んでも餘りあるは兄なり父なり、其故妾は斯く覺悟をいたした』兵『ハッ、御心底相判りましてございまする、同じ一腹一生の御兄弟でありながら、長政は人面獸心、實に武士の風上にも置けざる卑怯の擧動を爲し、それに引換へ奥方のお心の清らかさ、只今より御生害を止まり、書面に基づいて一度名島の城へ御歸城あり、官兵衞孝高、吉兵衞長政の御兩名にお傳へなさるやう』八『だまれ兵庫、妾も併且同意いたしたるもの、未だ疑ひが晴れぬか、多くの女中ごもに暇を遣はし、汝の來るを待つて茲に生害の支度をいたしたるが、其方には判らんか』兵『相判りまするが、此場に御落命は無益の事、それよりは世の中にあつて、清風名月を樂みに遊ばされ』八『重ねて申す事無用、最早妾は最期の支度をいたし、友千代丸も冥途の道伴れに伴ない行くから、得と見届けよ』こ又も友千代丸の咽喉に打死ご、已に刺さんこ爲したるを兵庫は其の手に縋り 兵『それは御無用に遊ばせ、御女性こは云ひながら女丈夫の御覺悟、お止め申すこ雖も、御生害はお止り遊ばしますまい、然らば其の若樣はお助け下し置かれたく、友千代丸樣此處に御落命にならば、岐非谷の家名其の血統を絶やすやうなもの、それよりは只今より其の若樣は、手前の家來六郎國經が從ひ叡山へお落し申上げ、阿闍梨は我も知る人なれば、出家を遊ばせ奉るの心底』膝をハタミ打たれた八重姫、八『兵庫、宜い處へ心附いた、妾も只一人の子供、やみ／＼命を取りたくは思はねご術計盡きたり、只今叡山へ落して出家させるこは何よりの考へ、然し六郎國經こ申する者は』兵『腹臣の者にございますれば御心配なく、只今國經を此處へ招きまする』こ人數の中に居りました傳法寺六郎國經、當年四十二歳に相成りまする家の子、此者へ右の次第をお頼みになる、國經涙を流して 國『某も討死の覺悟、お供をいたしたく心得しに、御幼君を叡山へ御案内いたせこは情なき仰せ』兵『コレ／＼死するばかりが忠義でないぞ、汝は若樣にお附添申上げ叡山に至り、猶阿闍梨の許に滯在爲し、御成長を相待つやう』急しき中に兵庫は書面を認め手許にありまする澤山の金子を國經に渡しまする、國經は已むを得ず俄に支度をいたして百姓の扮裝に相成り友千代丸を抱き之を背負ひまして岐非谷へ遁れることになりました。

◎成興と遊廓

成興遊廓指定地に於ける各樓の建築は殆ご工事落成し愈々來る三十日迄從來市中に散在せる各料理店は共指定地に移轉し料理店を廢して貸座敷さすることゝなりたるが右に就き去る七日各樓主を成興署に召集し大々協議する處ありたり其要項は來る二十五日迄全部移轉の手續を了すること、酌婦は全部娼妓さ爲すこと、娼妓の玉代は時間及び午後十二時前同十二時後、泊の五種とすること、娼妓は指定地外に出でざること、女紅場を復活し娼妓に教育を施すこと等にして之を以て成興一般の風儀上大に好果を來すものあるべく尚本町長崎亭は純全たる料理屋となり城町一樂は一時營業を廢止し來年四月指定地に於て營業を開始することゝなりたり(成興)

◉鹹興 [illegible] 當地步兵第七十四聯隊に入營すべき初年兵約七百名は七日御用船山陽丸にて西湖津上陸同日陸路咸興聯隊に入營せり ▲供養金 當地買商林良作氏は今息殺一の供養の爲め金一千圓を咸興佛教青年會及日曜學校に寄附せり ▲強盜殺人 去る三日咸興川西面に於て殺人強盜ありたるが犯人は直ちに咸興憲兵分隊に於て逮捕し目下咸興署に於て嚴重取調中 ▲楨領面長 成北羅南面の公金五萬餘圓を横領して逐電を極めたる前同面長代理朴陣ノ內六郎に七日咸興地方法院に於て懲役一年三箇月に處せらる ▲惠山鎭物價 成鏡南道の奥地たる惠山鎭附近は依然物價騰貴し居れるが其重なるものを示せば鷄卵一個五錢醬油一升一圓十五錢石油九十五錢精米五十八錢等なり

◉かきのしぼかき ◉佃煮 贈答用最適品 ◉內地へ御送り方には當方にて荷造りを完全に致します 京城加町一丁目 玄武堂 電話一八五二番

十二月十五日

十二月十三日 [illegible] 六白 ▲なる ▲虛 ▲日曜 ▲丙申 西北

▲六白▼ 努して効なき日、南は吉 ▲七赤▼ 何ごとも冷かなる好き日なり ▲八白▼ 何ごとに用ゐても凡べて宜しく好きなり ▲九紫▼ 餘り勞んばしからざる日 ▲一白▼ 花をも散るもあるべきと思ひたり ▲二黑▼ 目下より立てかしこなれば前に於て何ごとも好むべし ▲三碧▼ 諸の多からぬ日なり ▲四綠▼ 一寸さまさひすべきに用ゐても可なり ▲五黃▼ 目下より立てられて愉快に仕事のできる日なり 何ごとに用ゐてもよろし

Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス、
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
百錠金壹圓=說明書進呈ス=各藥舖ニ有リ
東京室町 三共株式會社

諸君は常に
治疾丸百毒下しは絶ず體内の諸毒を下し便通を良くし身體を強健にす
治疾丸 百毒下し
と共にあれ
最寄の藥店にて加藤の百毒と御指名お求めの上お試しあれ
本舖 伊勢四日市市赤堀 加藤翠松堂 振替東京三〇四五 大阪一七九五

大口歡迎 商品擔保便利取扱 田村質店 黃金町長谷川町入口 電話二九一六番

到る處の文房具店にあり
賜宮內省御買上 賜各宮殿下御買上
ラーヂ萬年筆 (目錄呈進)
男子用壹圓五拾錢より金十圓迄 婦人用金川式金錢より金十圓迄
東京市日本橋區馬喰町 文房具問屋學習院御用 酒井長次郎商店 電話浪花四五一七番 振替東京四九五三

最上醤油 龍 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

ヨ ほまれ味噌

最上清酢 日本一 マルカン印

若き婦人美は……
純白美乳(ホワイトビニウ)の一滴で最大限に發揮!
日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料純白美乳を用ひ出してから一日も片時も之を忘れた暇はない程それ程御婦人方から白色美を發揮する効果が顯著であること若夫人、令孃の間に高評嘖々、先づ家庭では美乳を朝夕に常用し生地を十二分に整へた上、外出間際の二三分間を純白美乳でお化粧遊ばせば一滴の力克く自分ながら鏡の中に見惚れるばかりの美人となりますから衣裳と純白美乳は兩つながら婦人の生命と謂はれつゝある如な譯、純白美乳が愛用者間に評判のいゝのも其の筈です、御存じのない方は今直ぐお試し遊ばせ……
家庭では…朝夕美乳。外出には純白美乳。

尼崎汽船出帆

仁川發 ▲山下丸 大阪直行 十二月 日後四時出帆 ▲秀吉丸 鎭南浦行 十二月 日後四時 ▲赤城丸 木浦、下ノ關、大阪行 十二月 日後四時 ▲大有丸 十二月 日後四時 ▲君が代丸 十二月十三日後四時出 仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

大阪商船出帆

仁川出帆 ▲安東丸 大阪行 十二月十三日 正午出 ▲大浦丸 大阪行 十二月 日 正午出 ▲信濃川丸 十二月 日 正午出 (元山出帆) (大連出帆) ▲安平丸 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 十二月十八日後十二時 ▲安平丸 十二月十八日後九時出 ▲湖北丸 上海、基隆、打狗行 十二月十八日前六時出 ▲北隆丸 十二月 日後六時出 內地各港出帆主要航路 ▲滿洲行 北米行 一年四回 每月 ▲南洋行 每月一回 孟買行 每月 ▲濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回

御注意 ◉外國航路の汽船には一切荷物の積込を致さす… [illegible] 大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇番・五〇番 [illegible]

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 清津、城津、元山、經由 平安丸 十二月十七日 清津發 ▲越後丸 十二月十九日 釜山、元山發 ▲浦汐行 清津經由 大阪丸 十二月十七日 元山發 ▲雄基行 羅津、雄基、清津經由 ▲京畿丸 十二月廿一日 釜山發 ▲忠清丸 十二月廿三日 元山發 ▲忠清丸 十二月廿八日 釜山發 ▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基 ▲隱岐丸 十二月十七日 元山發 ▲大阪行 釜山、門司、神戸經由 ▲平壤丸 十二月二十二日 元山發 ▲京畿丸 十二月廿四日 釜山發 ▲關門行 城津、清津、元山、釜山經由 十二月廿一日 元山發 ▲金剛山遊覽便 元山發 ▲鬱陵島行 釜山發 盈德丸 十二月十七日 ▲釜山浦項線 各港經由 ▲濟州島行 釜山發 長水、麗水、巨文島經由 ▲濟州島行木浦發 西歸浦、大靜、翰林經由 ▲西廻 慶興丸 十二月廿六日 ▲東廻 公州丸 十二月十九日 木浦發 ▲釜山麗水線 ▲木浦麗水線 巨濟丸 十二月十九日 木浦發 ▲多島海行 木浦發 慶興丸 十二月廿二日 ▲木浦行 仁川發各港經由 全州丸 十二月十六日 仁川發 ▲海州行 仁川發 江華島經由 ▲仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆 ▲鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 十二月十八日 仁川發 ▲大連、青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 十二月廿八日 仁川發
本社 京城南大門通(電話長一九五二、二一三) 釜山支店 元山出張所 木浦代理店 仁川代理店 京城 松原運送店 其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

汽車 京釜線(南行) (北行) 湖南線(南行) (北行) 同 京義線(北行) 同(南行) 京元線(北行) 同(南行) 京仁線 仁川行 [illegible]

京城日報 第五版

失業者問題

京城日報

一

戰爭に因りて異常に膨脹したる工業界が、戰爭の終局に伴なひ、多少の收縮を來すべきは、當然の歸結なり。是に於いて所謂失業者問題なるものが、各國經綸家の間に、當面解決を要すべきものとして提出せられつゝあるなり。英米兩國の如きは、此の問題に關する講究が夙に進歩し、今日までに種々の施設を見たる模樣なるが、我國に於いては經濟學者の心配する程、政府及び資本家の念願を刺戟せず、僅に近時神戸某造船所が破産して、一時に五百有餘の職工を解傭したるに驚き、さては油斷ならずとの注意を喚起したる程、極めて鈍感なりしなり。

二

英米諸國に於ける失業者救濟の措置は、單純なる經濟問題勞働問題のために促されたるものにあらず。失業者の續出は、國家社會の組織に大なる動搖を與へ、動もすれば破壞恐怖の時代を現出するの虞あればなり。近時英國政府が命令を發し、勞働者の賃銀は、講和成立後半年間は、戰時の額を支給すべしと定めたる如き、事業の收縮と共に、假令失業者を出さざるにもせよ、其賃銀の低落を來たし勞働者を驅りて、危險なる惡趣に入らしむるを豫防せるものにして其の用意たるや周到なりといふべし。而も英國に於ける民間事業家は到底政府と並行するを得ず、遂にランカシアの紡績從業者が、賃銀問題に關して、十萬人の同盟罷業を見るに至れり。顧みて我邦を見るに、政府に何等の經綸ありとも見えず、民間事業家は例に依りて冷然たる態度なれば、將來如何にして此の問題を解決すべきかい頗る憂慮なきを得ず。

三

是より先吾人は中央政府の施設につき下の如き消息を接受せり。曰く『勞働問題に對する施設として、内務省は救濟局新設を計畫し明年度豫算に計上したる所、大藏省に於て査定の結果削除せらるゝこととなりたるを以て、床次内相は豫算閣議に於て、熱心に之が復活を主張したるも、遂に容るゝ所とならず、僅に書記官一名屬若干名を救護課に增加することに依つてお茶を濁すことゝなれり。勞働問題が今後の重大問題にして、到底文官任用令及び選擧法改正問題等の比にあらず、其解決の如何は、國家の安危にも關する所なるに拘らず之が解決の任に當るべき機關としては、内務省救護課長及び其他二三者あるのみに過ぎざるが、而も該問題に對する研究調査は極めて不十分にして、近來熱心となれる床次内相と雖も、該問題に對しては纏まれる經綸あるを聞かず。又諮問機關たる救濟事業調査會の如きも、各省の官吏及び學者等を網羅せるものにて、机上の空論を闘はすには適せんも、實際的問題として經驗あるは山室氏等一二名に過ぎず。然るに此際經驗に乏しき書記官一二名を增加したりとて、焦眉の急に迫れる斯る重大問題に對し、適切なる名案を得んとは極めて覺束なき次第にて、現政府の該問題に對する態度極めて冷淡なりとして、頗る悲觀されつゝあり』と。事實果して然るや否やを知らざるも、吾人が當面の問題とせる失業者救濟の如きも、未だ政府に遺却せらるゝを免れざるの觀あるは、甚だ以て遺憾とする所なり。

四

所謂失業者救濟は、國營工業又は各地方公共事業を擴張し、民間事業界に溢れたる勞働者を收容し又は國立若くは公立の勞働紹介所を設立し、出來得る限り失業者をして窮途に泣かしめざるの方策を執るより外に致方なし。而も是には多分の國費を要し、又地方公共團體に對しても、低利資本の供給を要することなれば、何事にも消極的なる現内閣が、果して之を斷行するの勇氣あるや否や、吾人大いに疑ひなき能はず。若夫當面の問題を忽にし、例に依り成行まかせとするが如きあらば、恐らくは噬臍の悔を貽さんのみ。

國際裁判困難

裁判所設置如何

▽國際裁判　外電の報ずる所に依れば米國大統領ウイルソン氏は講和會議に於て國際高等裁判所の設置を主張すべく右國際裁判所の判決は英米二國の海軍を以て（或は他の海軍を加へ）行はるゝものなりといふ蓋し米國大統領の提唱する國際高等裁判所の設置は彼の海洋自由の問題と等しく理想論としては各國共何等異議なからんも其實行の方法如何は頗る面倒なる問題にして其主義に於て列國の贊する所となるも實行上の問題にて成立困難なる可しと推測せらる即ち國際高等裁判所の判決は絕對的の權威あるを要し國際裁判の被告たる國家が右判決に服從せざる場合に於ては強制的に服從せしむるを得べき權力を具備せざる可からず此點に於て英米兩國海軍が裁判官たる地位にある以上其判決は世界の何れに對しても絕對的の權威たるべきも若し國際裁判の被告が英國若くは米國なる場合に於ては判決の力は微弱となること可し假へば英國に對して國際規違反の行爲ありとして判決を下したる場合英國自ら其行爲を是と信じたる時に於ては此の判決を承服する者に非ざる可く

▽英米海軍　然らば米國海軍は英國に對して他の或る海軍力を加へて英國に國際裁判の判決を強制せざる可からざるも英國の海軍武力は米國に比して遙に強大なれば米國は更に他の海軍力を加ふるとするも戰後に於ける佛獨は其陸上の經營に力を注がざる可からざるを以て大いに其の海軍力を充實して英米二國と其の海上權力を爭ふことは先づ以て不可能なるべく且つ英國と利害の相一致せる國家が米國海軍と協力して英國に對して壓迫を加ふることを爲し得るや否やも疑問とせざる可からず劣小弱國に對しては權威あるも強國間には適用せられざるものとせば國際裁判設置の意義を失ふものと謂はざる可からず今英米二國の海軍力を比較するに

艦種	國	既成	建造中	未起工
弩級戰艦	英	三三	…	六
弩級戰艦	米	一五	六	…
前弩級戰艦	英	二九	…	…
前弩級戰艦	米	二五	…	…
巡洋戰艦	英	一二	二	一
巡洋戰艦	米	…	四	二
裝甲巡洋艦	英	二一	…	…
裝甲巡洋艦	米	八	…	…
巡洋艦	英	一〇五	不明	不明
巡洋艦	米	二五	四	六
驅逐艦	英	四〇二	不明	不明
驅逐艦	米	九五	二一九	…
潛水艇	英	一二四	不明	不明
潛水艇	米	七二	七一	九

以上の如くにして米國が第二次三年計畫の海軍擴張を行ふも未だ英國海軍に及ばず而も英國は這次世界大戰の終局を早めたるは其の雄大なる海上權力に依るを以て今後一層海上權力を鞏固にし全世界に亘れる擴大なる植民地を防衞し大海運を保護するには世界一の海軍力を維持するの必要あることを益々感知すべきを以て英國も亦戰後海上武力を充實すべしと推測すべき理由あり左れば國際裁判所の設置が成立すべしと假定し、其の

▽判決權威　を絕對的ならしめんとせば他の手段を選ばざるべからず此の手段として曾て米國海軍卿ダニエルス氏が提唱せるが如く國際海軍を設置し此の國際海軍の力を以て國際裁判權を行使す可しと限定するも國際海軍は世界の何れの國家とも利害の關係なき全く國際間に超然たるものならざる可からず是れ又實現に困難なる問題にして假令國際海軍の設置が成立したりとするも何等統一なき烏合の衆に等しきものなるべく斯の如き烏合の勢力を以て重大なる國際間の問題を解決せんとするが如きは一の空想に過ぎざるべく要するに國際裁判の設置は實行上の問題より成立困難なるべしと推測さる（東京）

戰後の保險業

今次の戰爭に依り歐洲に於ける社會上經濟上種々の新思潮流入せられたる結果生命保險事業も亦之が影響を受けて營業方法の根抵に革新を來し即ち保險事業は社會救濟なる意味の外に

▲資金の利用　方法なりとの理解を爲すに至れり假令ば募集員が勸誘するに當り從來は死亡費用、遺族救濟費又は老後の慰安と云ふが如き千篇一律の勸誘法に因り濟み居りしが最近に於いては餘裕を生じたる資金を投ずれば保險會社に於て利殖し年々會社の利益增加に伴ひ利益配當を爲し公債及び勸業債券を行するこ同樣に利殖せらる可しと種々なる比較表を作製して勸誘しつゝあり其實際の效果として近時財產階級及び知識階級者の加入漸く增加の傾向あり且つ近時國民各階級を通じ生活の餘裕を生じ加入者の增加したる亦戰爭の影響なり而して戰後斯界が

▲今日の情勢　を何時迄繼續するや否やは多大の疑問を存すと雖も從來戰爭の歷史に徵すれば斯界の盛衰消長は常に一般財界の景氣に比し二年位遲るゝを例とす戰後俄に米價暴落して農民の收入減少し又商工業者の不況を來す事ありとするも零細資金迄急激に皆無となるものに非ず且つ景氣の旺盛なる時代に於て生命保險を眼中に置かざる者も漸く凋落の氣運に向ふ中却つて加入者の增加する傾向あるが如し尚保險會社として將來活動上頗る樂觀す可きは從來保險を勸誘するに當り先づ自社の確實なるを說明するに努め又加入者側より

▲會社の基礎　如何を調査するを一大要件とし加入上種々煩瑣なる障害横たはりしが昔て世間より信用を疑はれし會社は自然淘汰を受け今や大體上基礎確實なる會社のみ殘存せる事とて此等障害は自然撤去せられ更に從來世人より品性劣等なりとして擯斥を受けし勸誘員も最近に至り品性及び行動共大に向上し從つて地方に於ける保險會社に對する反感は漸く緩和し勸誘の效果著しく進めるを見るに至りたるに在り而して將來生命保險發展の餘地に就て考察するに英國に於ける保險加入者人口千人に付八百人米國千人に付四百人獨逸の千人に付三百人に對し我國は千人に付僅々三十四人に過ぎざる狀態を以てせば

▲其餘地綽々　たるを知る之を營業上より云へば以上の如くなれども平和克復と共に一般財界に種々なる變動を生ずるが故に巨額の有價證券を有する保險會社は其波動を蒙る事勿論にして此際財產の運用に對しては周到なる注意を要す（太陽生命保險京城出張所主任水文之助氏談）

豫備會議と休戰期

聯合國豫備會議の開會期はウイルソン大統領の巴里到着を俟つて決定せらる可く本月中旬には一切の順序等判明するに至らん而して休戰期間は十二月十七日午前十一時を以て滿了となるに就き豫備會議開會前に於て當然延長せらるべきも其延長期間は更めてヴエルサイユ會議の決定に依りフオツシユ將軍より獨逸へ交涉することゝなるべし又列國の講和代表委員も既に大々確定し英國は十二月十四日の總選擧の結果假令勞働黨の勢力增大して政界の分野を一變せしむるに至ることも大體委員の顏觸れに差したる變動なかる可く露西亞側に於ては在米リウオフ公は熱心に代表者の參加を希望し駐米露國大使のマクメチエフ氏の列席ある可しとも傳へらるゝが露國今日の狀態に於て協商國側の參考人として其列席を許容する事ある可きも代表者として出席するの要なきは勿論なり（東京）

赤手空拳黨に告ぐ（三）

西伯利に活動せんとする　小田柳翠

◎探鑛家の西伯利活動は焦眉の急であらう前にも云つた通り鑛產は西伯利の大宗で金、銀、石炭、亞鉛、鉛、鐵、錫、アスベスト及び各種の寶石が無盡藏である此等の鑛物が今尚充分採收に着手せられて居ないのは全く露國探鑛家の多くが歐露の探鑛にのみ從事して西伯利方面に迄手が廻り兼て居る爲めで此際我勤勉なる探鑛家が廣漠たる大西伯利の山野を恰ら朝鮮で探鑛する樣に精細に探鑛したならば驚くべき大金鑛脈大砂金附、石炭附など續々として發見せらるゝであらう從來悠長な露國探鑛家が遊び半分の樣にして探鑛に着手して居る一小部分の鑛山中單に金山丈けの產出額でも現在年額三千萬留に達して居る此を日本探鑛家の活動に待ち有力なる鑛山經營家の經營に委したならば多くの年所を經ずして現今の倍や三倍の出產を見るや明かである大體西伯利の鑛脈は朝鮮などのそれに比し頗る廣大である朝鮮で砂金一塊何貫と云ふ巨大なもの、探出せられしを耳にせぬが西伯利では一塊三貫四百の砂金が採出せらるゝ事は敢て珍らしくないこんな具合であるから一旦有望な鑛山を發見したならば立所に探鑛成したるを得る譯である鑛山利權の獲得及び經營に至つては國際間の問題であり又前回述べた有力な實業家連が料理すべきであり赤手探鑛ハンマー一本で活躍を試みんとする空拳黨としては日本鑛山家と提携するも露、米、英、佛何れの鑛山家と提携するも心まゝである但し成る可く吾が鑛山家と提携し協力し利權を獲るのが同胞としての義務であらう先般セミヨノフ將軍の依賴を受けて西伯利鑛業を東宮殿下に獻納すべく朝鮮から東上した瀨尾氏の如き數年前より滿洲里附近及びザバイカル方面の鑛山に注目し一昨年露國政府より滿洲里附近のタングステン鑛の採掘權を得ザバイカル州にて商務局の採掘許可を得たとの事であつた更に今後吾探鑛家として充分活動すべき餘地のある探鑛物無盡藏の我大西伯利の山野であらねばならぬ

◎洗濯屋　床屋、時計修繕屋は西伯利何れの町でも必ず此の營業に從事して居るのを見る洗濯は露人のそれに比し清潔で手際が良く賃いので繁昌し床屋は散髮の仕方が手際で剃刀の使方が上手なので露人の氣に投じ一箇月三百から五百留位の稼高がある山東露國の床屋は顏洗ひが何程、顏剃が何程と料金が別々に定められてあるそれで日本の樣に總てやらして居ると、四ルーブル、五ルーブル（戰前で云へ）位請求せらる。畢竟それ丈けの收入が多い譯である時計修繕も日本人の器用から來た結果で何れの町にても一二軒は見受ける

◎之を要するに上述の營業は他の貿易、鑛山、山林、水產、牧畜などに比し大した資本を要せず所謂赤手空拳で出かけて容易に開業し得る而かも露人間に頗る歡迎せられて居る以上やり方一つでは確實に西伯利で成功し得る事と信ずる而してそれに依つて蓄積した成以て他日大事業に志すも亦面白からう今や西伯利に於ける邦人の對日本人感情は皇軍の出動後數倍良好になつたとは云へ何をやるにも昔に比し利便が多くなつた、年が明けて春になつたら西伯利へ出かける連中も從多い事であらう、有力なる實業家の出動は云はずもがなであるが上述の職業に從事する者或は膨脹的進取の氣象を有する活動家は宜しく須らく此際進出を試むべしである、因に西伯利で事業を成さんとするには第一語學の必要を感ずる幸ひ京城には善隣商業夜學部で露語を教授して居る又若草町にも夜間笠原氏の露語研究所がある餘暇を利用し少しでも研究して行つたならば向ふへ行つてから至極樂で半年も經てば日用の言葉は自由に話せる事になる（完）

本紙定價　壹部金參錢　壹箇月七十五錢▲郵稅拾五錢郵稅前金▲參箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢同特別二號▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢同六號十七字詰一五
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用一六〇九番・一六〇〇番　營業用三六〇九番・三六〇〇番　振替貯金京城三〇〇番

[illegible]萬五千六百四十七枚二十[illegible]百四十三萬七千三百七十九圓拂戾し入金額[illegible]に於いて十二萬四千九百四十四圓に付加せられ[illegible]
[illegible]三萬八千七百[illegible]圓拂戾三千三百四十四枚八萬[illegible]四十圓償還四千四百七十一枚二萬四千九百四十圓に[illegible]
[illegible]四百九十二枚二[illegible]十回を增加し又振替貯金は受入拂込千四百六十六人二百一萬二千百八十七口五千九百九十二萬四千四百
[illegible]座振替九萬四千八百九十四口二千[illegible]七百九十四萬五千二百四十一圓月末現在は十一萬三千八百九十二人
[illegible]百七十二萬五千七百[illegible]を以て滿了となるに就き[illegible]左の如し（東京）▲内國郵便爲替[illegible]振出二百五十
[illegible]萬三千三百六十口[illegible]八圓▲年金恩給々與金拂渡一萬四千二百八十二口廿二萬七千一百三十二萬三千二百三十六圓 渡十一萬五千五百十七枚十四
[illegible]五千九百六十口三百九十四萬六千七百十圓▲其他各廳所管四萬五千五百二口三百十八萬五千百十七圓▲簡易生命保險 新契約四萬千四百四十件月末現在契約件九

大日本國民中學會編
大正八年 學生日記
□最上等總洋布 定價金六拾五錢 送料六錢
中學程度の學生用日記にして、各月の初めに文章月令あり作文用語あり加ふるに中學百科の精粹を拔きて每頁に掲げ知らず識らずの間に甚深の知識を修得せしむる等體式の奇拔にして用意の周到なる本日記の特色にして誇る所也、每歲大歡迎を受け年內に早く品切となるを常とす。此際速に需められよ

新刊
國民中學會講師 大學講師 寺崎留吉先生著
常識問答 百科解說
□總洋布特製 定價金壹圓五拾錢 送料六錢
本書を繙かれよ。如何なる問題も悉く收めて此の中に在り、而して明快簡潔なる解答の與へられてあるを見ん、天文地理の諸項に始まつて日常生活に至る一千二百の題目、何れも中學の百科を標準となし、一般國民の知悉せざる可からざる知識の精粹を集む、日常生活の絕好相談相手は是れ也

新刊
養鷄大家 中村孤月先生著
最も新らしき 鷄の飼方
□中型洋裝美本 定價金壹圓貳拾錢 送料八錢
すべての副業のうちで最も有利なものは鷄を飼ふことである雛から育てゝ卵を產むやうになるには六ヶ月、卵を產めば卵が賣れる、雛にすれば雛が賣れる、即ち鷄の飼ひ方を學ぶ的の方法を說いてある。最も容易に又如何なる處にても鷄の飼養し得らるゝ方法を說ひてある。本書を備へて鷄を飼養する時は何人も損失と云ふ事を知らぬであらう

發行所 東京神田駿河台 合資會社 國民書院 振替東京三〇〇九番 電話神田三〇〇二番

自動車營業

種類		
ハドソン	六人乘	二臺
ビーイック	六人乘	一臺
フオード	四人乘	五臺

料金 市內（ハドソン ビーイック）一時間 五圓 半日 十五圓 一日 二十五圓
（フオード）一時間 四圓 半日 十二圓 一日 二十圓
▲時間貸にして一時間超過後は以上一時間毎に（四圓 三圓）

右一般の御需要に應じ可申候
京城 朝鮮ホテル 電話一七〇八番・二七〇九番

前文部大臣 前司法大臣 尾崎行雄先生 前衆議院議長 島田三郎先生 題字 日本雄辯學會著
（最新刊）
式辭 演說 祝賀 弔祭 宴會 集會
卓上三分の雄辯
舌三寸活殺の要訣
演說の目的は己が意志と感情を自由に、大膽に、明白に發表して其要旨を徹底せしめ以て他を感動せしむるに在り。本書は平凡なる長談議的駄辯を廢し、最も實用的なる短時間の演說法を組織的に說き、ドンナ素人でも本書に依れば機械的に公の席上に祝賀、弔祭、宴會、集會等に臨んで活用せしめ、雄辯學を自修し得らるべし
舶來布製四百餘頁 金壹圓四拾錢 送料六錢
發兌 東京本郷元町 中央出版社 振替東京二五七八〇

法學博士 田尻稻次郎先生著
訂正增補 第三十版 財政と金融
菊判洋裝全二册 總紙數千八百頁
渾沌たる戰後の財界に最後の勝利者たらむと欲する者は本書を讀め。假令ば「恐慌」の項を讀め。恐慌の關係を知らむとせば之に對する處置、英獨露米の恐慌等六十頁に亘り事實に照し理論に究め一々適切の針路を示す。全卷二千頁直接經濟事情を闡明せる金玉の文字斯界に活動する人士は勿論各銀行會社商店工場は速に本書を備へよ
定價金七圓五拾錢 特價金六圓 送料內地金廿錢

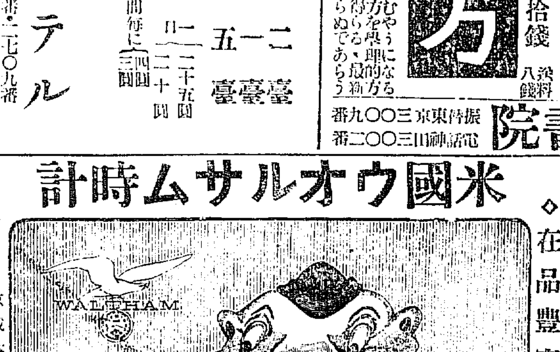
農學士 田所哲太郎先生新著
特賣提供 重要商品精義
第一卷 農林水產の卷 菊判全一册 定價三圓
第二卷 鑑定法の卷 菊判全一册 定價金二圓 送料各册十二錢

東京神田 株式會社 同文館 振替東京第一三五番

最新刊
（博文館）ポケツト日記 一八五 一〇七〇 四〇五 四五〇 四〇〇 四八〇（送料各四錢 送料各貳錢）
エヂソン圖案東京圖案研究會 一、二〇
國家の成立と時代中谷 一、〇〇 一、二〇
▲世界に於ける珍らしい話と面白い噺 加藤子倫著 一四五一錢 送料八錢
一攫千金小谷榮三郎 一、四〇〇 八
製造業と原料計算法 一、五〇 二
增訂測量設計費用表 三、二〇 六
佛教の新研究 上宮教會 一、七〇

◎年末年始の御贈答品として一番喜ばるゝ萬年筆を御勸め申候
ウオーターマン其他新直輸入品各種澤山取揃居候
京城本町一丁目 大阪屋號 電話六八四番・一〇八六番 振替京城二五七三

移轉擴張
今般左記へ移轉仕候ニ付御承知ノ上不相變御用命ノ程偏ニ奉願上候
移轉先 新龍山漢江通十一番地 元十八銀行派出所跡
本支店所在地 京城、仁川、平壤、元山、海州、義州
協同組運送店 電話三〇二番

米國ウオルサム時計


◇在品豐富◇價格低廉◇
京城本町二丁目 田中兄弟時計商會 電話一五七番・振替京城四三八七番

□東京製トランク各種
□專賣柳織鞄一手販賣
□毛布及膝掛各種
□國旗及附屬品一切
□魔法瓶及中瓶取替
鞄は……高木旅行用具店 京城本町一丁目 電話二九四番

カーバイド 並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド 鮮滿總代理店
山陽商會 京城南米倉町十七番地 電話二九一 振替京城三二〇番

◇第一回講和會議
來る二十日より開催＝總聯合國代表者會議は來年三月頃か

講和會議の次第は十二月廿日第一回をヴエルサイユ公園内なるパレー、チュ、トリアノン宮に開會し一月初旬迄継續さる可く右は講和豫備會議なり第二次會議は總聯合國代表の會議にて三月頃開會さる可く聯合國中の大國は代表者三乃至五名小國は三名新自由國は一名を出す事とならん此會議は最も重要なるものにて多分其決議は敵國の承諾を要求し最終の講和會議にて審議さる可き國際聯盟問題の基礎案となる可く之を原案として爾後開催さる可き敵味方合同の國際會議に提出さる可く其他多く小委員會を開會し新國境線ライン、ダニューブ等中央諸水路の國際的地位問題を審査する筈なりと（巴里電報）

◇休戰延期議定委員

聯合國政府は休戰延期問題を十二、三兩日中に議定す可きに就き全權委員を任命派遣す可く獨逸軍司令官に要求し來れり（アムステルダム電報）

◇セシル卿聯盟委員任命

英國前外務次官ロバート、セシル卿は講和會議に於ける國際聯盟委員會英國代表委員に任命されたり（倫敦電報）

◇ウ氏と講和會議

ウイルソン氏は講和會議に於て多分會議に列席せず米國委員代表出席すべしと傳へらる（東京電報）

◇伯林混亂狀態
二週以內に政府を顚覆せんと脅迫

伯林は尚混沌たる狀態に在る模樣にて兵士と勞働者、政治家と勞働者、社會主義者の多數とスパルタカス團との乖離日に甚だしくなりつ、ありスパルタカス團の一派は政府は革命を軍隊復興派に售る事を希望するものなりと難詰しリープクネヒトは二週間以內に政府を顚覆す可しと脅迫しつ、ありと（東京電報）

◇駐蘭獨公使外相

和蘭駐剳獨逸公使ローゼンはゾルフの後を襲ひ獨の外相たる可くローゼンは純官僚式の人物なるを以て一般に注目さる（巴里電報）

◇米軍ライン河占領期

米軍の左翼は三日以內の行進にてライン河に達し得可く十二月十三日頃全部を占領す可しと期待さる（巴里電報）

◇國務省獨墺通告

米國々務省は獨逸墺太利兩政府に通告して曰く『獨墺兩政府より當然各聯合國に宛て送附さる可き筈の通告は今後米國政府に於て接受するを欲せず』と（華盛頓電報）

◇米鐵道會社決議

米國各鐵道會社幹部は左の決議を爲せり（紐育電報）

（一）鐵道國有反對（二）妥當なる鐵道取締規則は之れを容認する事（三）今後政府の鐵道管理期間終了迄の間私有財產返還に努め所有者に財產復歸の準備を爲す事

◇米移民制限提案

米國移民委員長バーネット氏は戰後歐洲移民の米國に向け押し寄するを堰止めんが爲め今後二三年戰後整理時代中移民の入國を制限せんとの議案を下院に提出せんとしつゝあり右に對し實業家等は反對の意見を表明せり（紐育電報）

◇議和代表者任命

南北議和代表は唐紹儀氏以下九名任命されたるが主なる者は章士釗、譚延闓氏等なり（北京特電）

◇支那督軍の交迭

北京よりの報道に據れば熱河都統姜桂題氏は北京に河南督軍趙倜氏は熱河都統に湖南督軍に尙吳佩孚蔡成勳氏若くは盧永祥氏中の孰れか湖南督軍に任ぜらる可きも暫時吳佩孚氏をして湖南督軍代理たらしむ可しと（上海特電）

◇徐總統和平打電

徐總統は唐紹儀氏に頗る懇切なる電報を送り和平に關する誠意を披瀝せりと（上海特電）

◇阪谷男招聘交渉

支那政府より幣制改革顧問として阪谷男招聘を交渉し來れり（東京電報）

◇支那に無線電話設置

マルコニー會社のエルマール、モール氏は支那共和國との協約に基づき支那各地に二百箇所の無線電話局設置の爲め渡支の途次香港に到着せりと（香港電報）

◇國分次官歸任期

李王世子殿下と梨本宮方子女王殿下の御婚儀の爲め上京中なりし李王職國分次官は十四日午前八時半東京驛發歸任の途に就く筈也（東京特電）

◇大連民政署長辭職

大正二年以來大連の民政署長として一般の信望篤かりし大內丑之助氏は病氣の故を以て辭職する事となり當分鈴木都督府事務官事務取扱として後任の筈なり（大連特電）

◎西伯利の通貨
信用ある我通貨

浦鹽松田銀行部長安達久氏は語つて曰く浦鹽は目下平穩に商業も可なり盛んに行はれ居れるが浦鹽よりハバロフスクに至る列車は常に不通のため內地より浦鹽に着せる貨物商品を奧地より送り出す能はず只僅かに小商人が手荷物として持ち行く位の程度にて大口のものは實際に行はれ居らず最近[illegible]されたる

▲救濟調査委員會 は米、砂糖、茶の如き日用の必要品を露國內地に向つて廉賣し居れるが第一回の廉賣として昨月四日前記の物資を貨車二十五輛に積み國際の力にてハバロウスクまで送り出せるがこの廉賣品以外は烏蘇里線の一部に止まりハバロウクに入るを得ず第一回廉賣は浦鹽の商人にて送り出され尙ほ引續き第二回廉賣をなす模樣なりされど今後廉賣を繼續し能ふや否や疑問なり露國に於ける通貨はハバロフスク、ブラゴエチエンスク附近に於いてロマノフ及びケレンスキー發行の留紙幣は

▲全くその影を沒し クラスノ或はムーヘン等過激派發行の新紙幣流通し居るもこの保證なき新紙幣を手にするは危險にて舊紙幣依然として値あり予が浦鹽出發當時舊紙幣は四百七十の相場なるに反し新紙幣は殆ど反古同樣に取扱はれ居れり鮮銀は浦鹽ハバロフスク、ブラゴエチエンスクに通貨交換所を設け舊紙幣を預り軍隊の手より渡れる留票を留に換算し居れるが現在ハバロフスク及び浦鹽に於ける正貨の狀態は露國は過激派發行の紙幣及び西伯利政府發行の大藏省證券流用するも双方とも信用なく

▲證券は新に發兌せるものに非ず過激派の新紙幣にサインをなせるのみにて銀行にては此證券を認めず舊紙幣のみ信用し居れり銀行より云へば英國は香港上海銀行及び印度チャイナ銀行支店を浦鹽に設置し日本は鮮銀と正金支店（本月中に開店）米國は露都にあるナショナル、シチイ、バンクを浦鹽に移すことに決定し各國とも競ふて浦鹽に金融機關の設置をなし米國は最初弗の手形を通貨として出し之を担保に換算し更に留に換算し居たるも近來この弗の手形市場に出でず之に代りたり

▲舊紙幣問題は これ米國が曩にルーブルの買占をなしその後如何になりしや一般疑惑され居りしもこの舊紙幣が市場に顯はれしによりこの疑念も晴れたるもの、如く佛國は安南、香港方面の通貨を流用し香港弗、メキシコ弗を市場に出だし之れも留に換算し後留に換算し居れり次に英國は同國の通貨を出だし居れるがこれ又圓を本位に決濟し、チエックは浦鹽駐在の佛國領事より本國政府に宛たる手形を使用し居り各國その通貨を異にするも凡て邦貨圓を用ひこし圓本位にて決濟し西伯利に於ける日本通貨は尤も信用あるものとして認めらるることこの點は意を強うするに足り（門司）

◎京城最近商況

京城商業會議所の調査に係る客月中の當地商況を聞くに左の如し

▲米穀 先高を豫想する傾向ある上に農民の懷合潤澤なり爲め賣急ぎせざりしと鐵道輸送停滯並に地方に於ける激烈なる流行性感冒の爲め取入れ手後れとなり市場への出廻り出來ざりしに因り穀の出廻り一般に後れ例年に比し鮮少なりしも眼前に納稅期を控へ居るを以て漸く出廻り增加すべく相場は一高一低の狀態にして月初めに入りては稍下落の經路を辿りしも月末には更に元の高値に復せり

▲大豆 輸送難の爲め集散意の如くならざりしが下旬頃より滿洲の大豆相場と當地の米相場との影響を受け漸次騰貴を示せり

▲牛皮 先月末より幾分強き配なりしが休戰條約の成立に刺戟せられ漸次弱含みとなり平均相場は大皮七十七圓五十錢中皮七十二圓五十錢小皮八十七圓に低落せり

▲綿絲布 講和接近に因る內地市場の弱氣配に係はらず當地は在品薄き爲め相變らず強氣配を示し三エ印和金巾最高四百四十圓最低四百三十五圓双女印十手綿絲最高二百二十五圓最低二百十五圓の保合相場なりしも一般鮮人購買力增進の爲め商行良好を呈し其他の雜貨類も季節柄の集散稍活潑なりしが如きも一般の商況は氣迷ひの姿にて活氣乏しき裡に越月せり

▲貿易 今京城稅關出張所の取扱ひに係る本月中の貿易額を見るに輸移出品價五十四萬九千三百六十三圓輸移入品價二百八十九萬六千八百十八圓合計三百四十四萬六千百八十一圓にして之を前月に比すれば輸移出に於ては三千九圓を減少し輸移入に於ては八千五百五十九圓を增加せり而して更に之を前年同期に比較する時は輸移出に於て七萬九千四百八十七圓輸移入に於て八十萬百十八圓を何れも增進せりと

◎醫療完備計畫

總督府にては大正二年十一月醫師規則齒科醫師規則醫生規則等を發布し何れも大正三年一月一日より施行し更に大正三年七月醫師試驗規則を發布し以て優良なる醫師の增加を企劃する等鋭意醫療機關の改善を圖りつ、あるも道所在地の如き人口多數の都市に限りて漸次之が機關の充實を見つ、あるのみにて村落僻地には醫師の分布甚だ稀にして到る處醫藥の不便を訴へ地方開發上に及ぼす影響勘少ならざるものあるを以て來年度より全鮮僻陬の地に一大改革を加へ之が缺陷の補足を計畫しつ、あり旣に來年度豫算面に之に要する經費を計上しありと

◎橫斷航路殷盛

朝郵命令航路日本海橫斷航路は初航より引續き往航は每船相應の荷物あるにも拘らず復航は未だ內地に於ける荷主が之れが利用を知らざるもの多かりし爲め常に船腹の[illegible]實にして一箇月二百噸に上る事は多からざりしに近來該航路利用方法一般に周知せらる、と共に復航荷物漸次增加して一箇月五百噸以上に及び時に一千噸近くの觀荷を見たる事ある程なるが此の傾向は今後尙繼續するは必然にして且內地鐵道に連絡して大貨物輸送の方途を講じつ、あれば愈之れが實現の際は該航路の荷物は往復共多大の增率を示すに至るべしと

◎講和と鐵貨

講和來の聲は我經濟界に多少の動搖を來したる氣配なきにあらざるも越年迄は大體に於て現狀維持と見て不可なかるべく從つて當月は殊の外局鐵道貨物の如き四百六十萬噸內外の輸送を見るに至らん尙本州線主要貨物の移動は凡そ左の如くならんか（東京）

▲米十七萬噸▲石炭三十二萬噸▲木材十八萬噸▲石材五萬噸▲鐵及鋼四萬噸▲鑛石六萬噸▲肥料八萬噸

◎養蠶熱と桑田

咸南道に於ける一般農家の養蠶熱は繭價の昂騰に刺戟せられ近年異常の發展を見たるも一面桑田の改良增殖は之に伴ふ能はざる狀態にあり蠶期の如きは非常に桑葉の不足を感じ爲めに上簇前蠶を遺棄するの已むを得ざるものさへあり當局者は鋭意桑田の改良增殖を期するの必要を感じ盛んに桑田品評會等を開催し之が指導に努力しつ、ありと因に桑田は速成桑田の撰定施肥整枝其他改良の必要あるもの尠からず

◎全南棉花比較

大正六年並に大正七年十一月二十二日現在の全南棉花共同販賣高比較は大正七年百四十四萬四千四百六十四斤此價格四百二十八萬六千三百餘圓大正六年九百二十五萬一千五百五十斤價格百九十五萬二千九百九十圓にして單價は大正七年實棉百斤二十九圓六十七錢大正六年二十一圓十一錢なりと

◎徐上將軍の入京
日く十一年振りで日本內地を視察して非常の發達に驚いた』

陸軍特別大演習御陪觀の爲め內地各方面を視察してゐた陸軍上將徐樹錚氏一行は十三日夜入京京城ホテルに投じた將軍は連日の疲勞の殊に不快なりとて多く語らず

▲將軍に親近 せる宗運局長を通じて曰く北京より予等の歸京の早からん事を頻々求めて來るので今夜特別列車を出して貰ひたい位です內地の各方面の設備は貴國接待員並に官民の非常な好意で十分になし遂げました唯時日が短いのに見學の箇所が多かつたので少し落ちつかないと感想も浮びませんが十一年振りに貴國を訪ねて見ると實業も教育も

▲都市の設備 も何れも非常の進步で全く面目を革めてゐるのに驚いた、中華民國も各方面共貴國に倣ひ改良の實を擧げて行かねばならぬと云ふ事を痛切に思ふ、此行見學の外委より政治上の意味はない、南北妥協に對する五國政府の勸告の如きは何等本國政府より通知して來ず知人よりの報もなく僅に貴國の新聞によつて知つた位で素より

▲今後の形勢 や前途の事は更に判斷しつきませぬが支那國內の和平は予の主義主張であり五國の勸告なくとも只管和平をはかつて行きたいものである、徐大總統も同樣であらうと思ふ明日は貴國の領土を去る譯であるが終りに臨み予の此行に對し貴國政府及民間の與へられし好意を衷心より感謝する旨貴紙の餘白で通じて下さい

◎鑛業登錄（自十二月四日至同六日）

▲鑛業權設定

金銀銅鑛　慶尙北道達城郡城北面　十一萬二千百十五坪　稻垣宗次郎　酒卷菊之助

金銅鑛　全羅南道靈光郡西面　二十九萬七千六百六十五坪　裵大成

銀鉛鑛　慶尙北道迎日郡□　慶州郡陽北面　五十八萬八千七百四十五坪　權田卯吉

金鑛　全羅南道光陽郡骨若面　三十八萬五千四百四十坪　韓南錫　成志文　金泰瑞

金銀鑛　慶尙北道□道郡大城面　慶尙南道密陽郡府北面　三十萬六千二十九坪　李誠熙　金翰植

▲鑛業權移轉

咸鏡北道明川郡下雩面・雩北面　小林德一郎

◎數學教員出席者

二十四日より二十八日迄五日間東京高等師範學校中等教育研究會に於いて開催すべき數學科教員協議會へ京城より出席すべき人々は左の如く決定し一行は十五日夜行列車にて出發すべしと

京城高等女學校教諭京城醫學專門學校教諭日下部嘉藏▲京城高等普通學校教諭竹田喜久雄

○中村鮮銀理事出張 十三日夜釜山馬山晉州方面に向へり十八日歸任の豫定なり

○新田工務課長歸任 慶北地方に出張中なりし鐵道局工務課長新田留治郎氏は十三日夜歸任せり

○大田理事歸任 郷里石川縣に旅行中なりし大田鮮銀理事は夫人令息同伴十三日夜歸京せり

人事消息

▲キャースル氏（米國赤十字社附陸軍少佐）十三日夜入京朝鮮ホテルへ

▲藤原喜三郎氏（全北錦山郡守）同上

▲武田正次郎氏 十三日夜入京知火へ

◎鳥瞰錄

◎山縣陸軍次官の議論好きは有名な話しだが途此の間も然る論客を向ふに廻し『我輩は依然軍國主義者だ、獨逸は侵略主義を行つたから惡い、我輩の軍國主義は正義人道を擁護する帝國主義だ！』と頻に捲いた▲此の議論に同意するものは決して少くあるまい、かく申す鳥瞰子なぞはその一番に贊成だ▲兒島總務局長は岡山縣出身であるが何時か東京府に籍して居るので去る頃の同縣會で之に對する詰問が出た▲すると總長の辯解が甚だ振つたものであつた曰く僕の原籍地は上道郡高島村字祇園の某番地であつたが先年家屋を取拂ひ其跡を畑地に引直したものだ▲すると僕の戸籍面に面白い現象を起した即ち原籍は岡山縣上道郡高島村無番地といふのだ▲無籍者などでは頗る之を怪しみ無番地とは何ういふものだと屢々質問せられるといふ始末さ▲そこで僕も面倒で溜らない俺だつて宿なしぢやないぞと早速東京に轉籍したのださと言ひ乘て呵々大笑

◎傭船界の不況

[illegible]ざる爲め傭船界も頗る不味の情勢を呈せり今般近海傭船契約の成立せるもの之を擧ぐれば左の如し（大阪）

東興　三〇〇〇　十二月　六月　普通　二六五　三井
大信　二〇〇〇　十二月　三月　近海　二〇〇　村井

◎酒稅引上問題

[illegible]は米價調節の一策として酒稅引上[illegible]數の減少せざるものと假定せば約五千萬圓の財源を求むることを得る[illegible]後は酒造米の減少を來すべく其結果は幾分常食米の供給を補ふ所あ[illegible]

演藝

▲有樂館 十三日より新派[illegible]

法人登記公告

原州金融組合登記事項中理事ノ住所氏名ヲ左ノ通變更ス
原州郡原州面上洞里貳拾五番地
理事　木下齊
右大正七年拾貳月拾日登記
京城地方法院原州支廳

京都產　金銀諸箔鈴
黃銅鈴。齒科用金箔。押紙。無地金屛風。
右各種製造販賣
京都市御幸町御池南入　堀至善堂
電話上一五五九番　振替大阪六四四番
大阪市西區長堀南通四丁目　大阪支店
電話西八八七番

○各道廳郡廳御用達○
專賣特許　繩叺稻扱機械

作業不完全ナルトキハ何時ニテモ代金返送可仕候
一ケ年間以上保證ス御希望者ハ返信付申込アレ
並ニ綿打機械
製造發賣元　大邱府大和町　東屋商店　振替京城五六八〇番

ミシン賣買
▲針、油、部分品卸小賣
▲確實ナル修繕
▲營業案內進呈
▲御用ノ方ハ御一報次第參上
京城鍾路二ノ二七　電話三三八番　楠商店

スワン石鹼
優佳艶麗なるは池のスワン。
優逸純良なるはスワン石鹼の質。
池のスワンは浮鳥の王、實に!!
スワン石鹼は浮石鹼界中の王!!!
製造元　日本リーバー・ブラザース株式會社

歲末歲始　御進物として最も御便利に候
商品券
御買上金貳圓毎に景品券進呈
且つ御體裁のよき箱入として御調進仕候
丸一吳服店　電話六三五
京城本町

コレ

御歲暮には？・是非
先方ノ無事健康ヲ祝福スル意味ニ於テ最モ禮儀ニ適タ家庭向キ佳品ナリ
醇良第一
◎何レノ御家庭ニモ無クテナラヌ正月ノ祝酒！酒ハ金露ニ限リマス
◎是非一瓶ヲ求メテ光輝アル新年ヲ祝賀シ併テ家運隆盛ノ盃ヲ擧グラレヨ
淡白佳味
到ル處ニ販賣店有リ
發賣元　京城府南大門通二丁目　大塚合名會社支店
電四〇一　振京城五七〇

十二月十五日より三十一日迄
景品附歲暮大賣出し
▲錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類▲高貴男物、其他長トンビ類上等物
安心して買へる正札店
あわじや
京城本町二丁目　江頭衣服本店　電話一三二五番
京城本町一丁目　江頭衣服支店　電話九一七番

……れ亦大影響及び小麥其需要を喚起せ……では米國の麥酒製造禁止の例に倣ひ酒を以て贅澤視し居る觀あれ而して税率引上實施後に於て酒造石額は現行税率石二十二圓を八圓方引上げ三十圓となす方針にて理由……收入增加を見るべし（東京）

天氣豫報追報　一時晴

……の興行……番外餘興の新喜劇……は頗る滑稽……つて好評を博し居れり

□御婚儀告期の儀

明年一月二十五日の黄道吉日を擇び霞ケ關離宮にて御擧行

今日しも李王世子垠殿下御婚儀告期の儀を行はせらる▲十三日午前十時こいふに高事務官は林樹を隨へ自動車を驅りて御使として梨本宮邸に參進す南部、坪井兩屬之を迎へられて少憩の後、正殿の御座に通れば御正裝の守正王殿下同妃殿下御面接あり高子爵は恭しく一禮して明年一月廿五日の黄道吉日を擇び霞ケ關離宮にて御婚儀擧行致度き旨御使の趣を言上し控の間に退き御返答を待ち居れば程て再び召されて洋式御禮裝の方子女王殿下に拜謁し王殿下より御使者の趣承知せりとの御諚あり斯くて高子爵は同十時十五分宮邸を辭したり尚高事務官は王世子殿下の勝隊御勤務より御歸邸を待ち委細右復命申上げたりと承はる

▽總督陸相其他の御祝賀　御婚儀の次第漸く進捗する儀に昨今の李王世子邸は殊の外長谷川總督の參邸御祝賀言上せられしに次ぎ田中陸相兒玉伯其他御祝賀言上の爲め伺候の人々引きも切らず瑞氣邸内に滿てり（東京特電）

◎通俗教育の統一

近日官制に依て公布さるべし

十日午後二時から文部大臣官邸に開かれた臨時教育會主査委員會の通俗教育案に就いて委員の一人なる湯原元一氏は語る『決議のあつた通俗教育の諸問題は從來口にされて居たのを統一的にしたものである、先づ文部省内に通俗教育調査會なるものを起し、その施設の計畫及び實行の任に膺る主任官を置くが、近い内官制に依つて公布されるであらう、主任官の人選は最も留意すべき點で

▲知識才幹 は元より通俗教育に理解と同情のある人に一生の仕事として當つて貰ふやうにならう何れの事業にせよ主任に其人を得なければ事業は完成しない

◇理解と同情ある人を主任として一生の仕事として貰ふへると云ふ樣にしたいと思ふそれから寄席に就いては約一箇年に亘つて吾輩が主となつて、三名の文學士が調査を遂げた、之も近日發表の運びとならう』

▽小説脚本を懸賞募集　善良な讀物として　文部省が計畫

夫から該項目中にある善良な讀物を供給する爲めには政府自ら其局に當つて積極的に小説脚本の類を懸賞募集する事にもならう、通俗圖書館は元より外國の如く通俗博物館の設置も極めて必要な事で、活動寫眞其他の興行物に就いては現在の觀察の行つて居る樣な規則で全國を統一したものを作り更に劇場の客席の改善も必要で吾輩一個の意見を述べるならば、調査費を懸けて脚本の募集をし、其選には優れた藝術家、教育家をして當らしめ、入選のものは或る優良な劇場に上場させる其上場に當つては劇場は利害を無視して行ふのであるから興行權は執筆者に與

◎東西兩軍の一般方略

京中の發火演習　參加生四百名

京城中學校にては夕刊所載の如く十四日早曉より漢江々畔西氷庫附近に於て發火演習を擧行する筈なるが右演習に參加すべきは三年以上の各生徒及び教員養成所生徒合計四百名にして教官岡村大尉は統監の任に當るべく二年生徒計三百名その他職員三十名は參觀武官の格なるが東西兩軍の想定左の如し

西軍想定（赤帽）

一、元山方面より京元線に沿ひ前進したる敵を永登浦附近に於て擊破したる西軍師團は主力を以て龍山——京城道を、殘部を以て（纛浦東側）——京城——龍山方向に追擊中にして其師團砲兵の一部は今や漢陽公園西南麓に陣地を選定して京城市街を退却中の敵に對し盛んに砲擊中なり

二、西軍師團長は龍山停車場前に集合しありし歩兵一大隊に機關銃六銃及び狙擊砲一門を附し京元線に沿ひ清涼里に向て前進せしむ

三、此大隊は十二月十四日午前八時軍司令部構内を經て御町南端十字路に達す同時に大隊長は騎兵斥候に依り左の情況を知る

一、劣勢なる敵の一縱隊は京元線北方地區を退却中にして其後尾は目下西氷庫北方鞍部を通過しつゝあり

東軍想定（白帽）

一、永登浦附近に於て不利の戰鬪を交へたる東軍師團は敵の急追を受けつゝ京城の諸道路を經て議政府方面に退却中なり

二、東軍師團長は龍山道倉宅附近を退却中なりし歩兵一大隊を左側衛となし、[illegible]里、西氷庫北方鞍部、西光里を經て京元線に沿ひ清涼里に向て退却せしむ

三、此大隊は十二月十四日午前八時往三里に達せし時優勢なる敵の一縱隊は我に尾して追擊しつゝあるを知る

右演習は午前八時より開始、同十時頃西氷庫北方高地に於て中止し岡村大尉の講評終つて喫食を濟まし十一時より一同歩兵七十九聯隊の營庭に集合の上新兵器を見學午後二時頃歸校の豫定なりと

◎陸氏が書類

を盜まれたといふのは

◇無根の流説だ

陸徵祥氏が日本にて重要書類を盜まれたりとの風説を流布する者あれども右は一部支那人が外人を利用し故意に流布するものにして識者は右の流説に對し憤慨し居れり（上海特電）

◎疑問の金髮美人

二箇月から朝鮮ホテルに泊り込んで成す事もなく毎日ブラ〱遊び暮して居る金髮美人があるホテルの名簿には哈爾賓の女學生とカルボスカ（一八）と記して居るが其實二十一才の

◆中年增 である何が故に年を隱して居るかは疑問だが此美人は他の泊り客に對し誰れ彼れとなく頗る愛想を振蒔いて「私の祖父は哈爾賓の知事を勤めて居ます私の諸事萬端の費用は其の祖父から送金して來ますそれで私は此の中で貧窮に可哀相な者を救けて居ます」と語つて居るつい二三日前の事此金髮美人は朝鮮銀行の前で犬の子の樣にゴロ〱して居る

◆乞食の 一鮮童を捕へて「お前は眼が惡いから私が癒して上る」と嫌がる鮮童を無理に引き連れて某眼醫者へ連込んで治療させた迄はよかつたが其鮮童何時の間にやら逃け出して影も形もなかつた成程慈善婦人だなと思つて居ると這度は三越の出張所で二百五十圓を奮發して頗る華美な日本著物を誂へて十二日夜もそれを著込んでキヤツ〱と噪いで居たが此金髮美人は

◆果して 慈善家？乃至好者？さても疑問の金髮美人として噂されて居る

◎生徒を劍で毆る

旅順中學の教員

旅順中學校の校紀漸く頽廢し遂に鐵拳事件あり不良者を出したるに未だ改められず五日は二百三高地占領記念日なるを以て生徒は斷足にて山頂に至り萬歳を三唱して下校する例なるに當日は三年級以上の生徒は下級生を追散らせるを山本教員憤慨し生徒に對して毆戒し次いで不法生徒を教室に連行き指揮劍にて毆打し且つ突飛ばして窓

◎前獨帝自殺を……

企て近侍の一人負傷す　日獨紙所報

獨紙所報に據れば『前獨逸皇帝は自殺を企て近侍の一人は之れを止めんとして負傷したり』（里昂電）

めでたき家庭

渡邊鷹次郎氏

總監部通譯官

◇是まで紹介したのは皆内地婦人が朝鮮の家庭に這入つたのであるが、今日は是と全然反對の家庭——即ち、朝鮮婦人を妻として居る内地人の家庭を紹介する。

◇渡邊鷹次郎氏と云へば、人も知る警務總監部の通譯官であるが、この人の令閨は當地の實業家朴谷陽氏の息女である、谷子と云つて今年四十七歳、御婚式を卅年前に濟ましたと云ふから例の『高砂や……』を謠つてから、最う卅年にもなる譯だ、内鮮人結婚者中恐らく一番古い夫婦であらう。

◇『……卅年前と申しますと、今とは丸きり趨勢が違ひますので夫婦になつた時には隨分批評されましたが、耳を塞いでジツと辛抱して居ました』——とは夫人の懷舊談だが左も有つたらう、當時の痛苦も思ひ遣られる。

◇二十一歳の時、和服を著たのが始めで、夫から此方はズツと純然たる内地式生活を試みて居る、前號に紹介した金顯澄氏夫人は今立派な朝鮮婦人になり濟まして居るが、谷子夫人は又生つ粹の内地人で誰が見ても朝鮮婦人と思ふものはない。

◇十一年前、舊韓國の特使がその夫人を伴れて内地へ渡航した時が、特使が態々夫人を同伴するやうになつたのは他ならぬ谷子夫人が運動した爲だと云ふ、舊韓國時代、谷子夫人は教内役として隨行した位の裏面に活躍したものだ相な。

◇子福長者と云つて渡邊氏夫妻の子福長者も羨がらう、その數正に一打——に二人足らぬ丈、長男は目下木浦で實業に從事して居るが、令孃は皆美人として評判が高い。（寫眞は渡邊氏夫妻と令息令孃）

◎『美術館建設の急要を認め

此を速成せん事を期す』

◇十日東京美術家大會にて決議◇

美術館建設の急速を促すべき美術家大會は十日午後二時より上野精養軒に開會、正木美術學校長發起人總代として開會の辭並に經過及び將來の希望を述べ議長に移り來賓[illegible]博士は前陳に美術館建設の急要を述べ[illegible]黒田淸輝、中川八郎、岡田三郎助氏等の發言あり左の決議文を可決す

決議　美術館建設明成は時勢の進運に鑑み美術館建設の急要を認め速かに此目的を速成せんことを期す

右決議す

次で階下の大食堂に於て開宴し其席上[illegible]出席者は東京一流の美術家を網羅せるが黒田淸輝、中村不折、南薰造、結城素明、鏑木淸方、松本楓湖、堀進二、吉田博、松林桂月、中村光雲、朝倉文夫、石原和雄、山本鼎、小杉未醒、小室翠雲、川合玉堂、尾竹越堂、岡倉秋水、長谷川榮作、荻原碌山、和田英作、柳敬助、岡部力、藤田嗣治[illegible]等二百五十餘名に達せり

◎罷工十萬人

倫敦紡績同盟

倫敦來電　紡績同盟罷業は今や益々盛りにて紡績工十萬人と五千の錘休み居れり更に職工二十萬人の休業を見るならんと（京特電）

◎看守教習所　入所式

京城西小門町看守教習所に於ては第二期生の看守教習生を募集せるが應募者九十餘名内合格者二十名の入所式を十三日午前十時より擧行せり式に先立ち柿原典獄は教習生に對し一場の訓示を與へて同十一時式を終了せり

◎雪景色

十三日は朝來四邊白和を現出し實に珍らしい程の暖氣であつたが正午前後から俄に雪模樣と變じ一時頃からは雪が降り出した俗に牡丹雪と云ふ雪で世間の内は僅に路面を白く彩つたのみであるが夜に入つて往激しく降り出し忽ち美しい銀世界を現出した

◎毛皮類

豹虎の皮が一番　が素晴らしく賣れる

講和來で各國との交通が開けて諸物價が漸次下落しつゝある中に毛皮類に至つては反比例に一割乃至は騰貴を示して居るのは講和來と共に諸外國から日本へ毛皮類の註文がドシ〱入つて來るのに

▽起因して 居るがそれと同時に内地は無論寒氣の殊に強い鮮滿に於ては恰も季節の需要が頭打ちで幾らあつても足りない位である其上本年は一般好景氣で懷具合がいゝ處から毛皮類の賣行きと來たら素晴いものである尚ほ近來贈答品として賣行きも相當にある何處に賣れるかに就き某毛皮商で調べて見ると

▽婦人用と しては「ネクレツト形（九圓より十二三圓位）丸椿（十圓より廿圓位）帽子（五圓より十六七圓位）が賣行よく兒童用の肩掛（二圓卅錢より七八圓位）袖無（五圓より十一圓位）又裏毛付手袋も十二三圓から十五圓迄が賣て行く殊に本年は豹及び虎の皮四十圓から四百圓迄の處が買取られて行くとて何れもホク〱ものである

◎小火二件

▲十三日午後七時四十分黄金町五丁目三百四十九番地古物商根先泰方温突焚口より發火大事に至らずして同八時鎭火したるが損害約二百圓なり▲同日午後八時五十五分義州通二丁目百十五番地布木商崔性煥方溫突破損の箇所より漏火の爲め一百半燒同九時十五分鎭火損害約十圓

◎忘年狩獵會

去る八日京義線一山以北にて腕くらべをなしたる朝鮮獵友會の猛者連は十五日又々京義線に出動忘年狩獵會を催す筈なるが其の方法は總て前回同樣なりと

◎歳暮品廉賣

京城俱樂部に於ては十四日より十六日迄三日間に亘り歳暮品として西洋雜貨、西洋菓子、缶詰類、食料品、紙卷煙草、化粧品類、食器、雜貨等の廉價販賣を開始する由

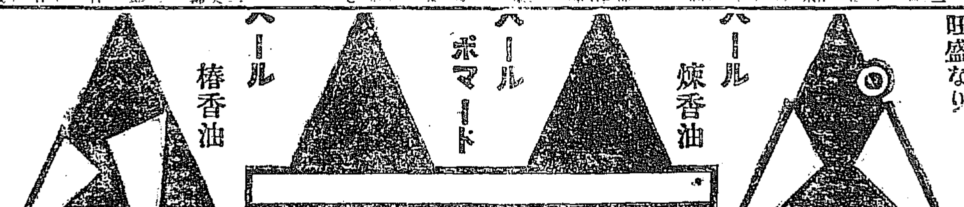
◎鮮人分會評議會　在郷軍人京城分會にては來る十六日午後七時より銀行集會所に於て評議會を開き明治神宮獻木に關する件分會旗の件その他一二を附議すべしと

故鈴木校長弔慰及獎學資金寄贈者名（第七回）

一金拾圓　高野省三
一金五圓　宮原寛美
一金五圓　明治町一丁目　天野雄之輔
一金壹圓　柴田誠一
一金五圓　同　柴田孝三
一金壹圓　鍾路一丁目　矢澤近次郎
一金五圓　京城日本キリスト教會　婦人會
一金貳圓　忠北沃川郡色内門井里　鄭求平
一金壹圓　蛤洞三五　長友正昭
一金貳拾圓　仁川　鬼頭兼治
一金貳圓　長沙洞一〇〇　金允職
一金い拾圓　總督府水務局官　フオークストラ
一金五圓　本町三丁目　藤富國太郎
一金貳圓　同　タツエ
一金參圓　同　藤富商店々員一同
一金拾五圓　龍山　中學校職員生徒一同
一金壹圓　本町二丁目　池田長兵衛
一金五圓　平北寧邊郡府内面寧邊洞　松山安次郎
一金貳圓　美陵第二年
一金貳圓　鍾路小學校同窓生一同
一金貳圓　木浦　某
一金壹圓　京城電氣會社　森安一
一金壹圓　松村三省
一金拾五圓　龍山　田中一郎
一金參拾圓　同渓江通　盛陽社員一同

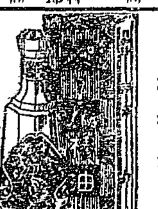
小計金百六拾九圓也
累計金壹千八百八拾九圓六拾貳錢也

◆當選者へ急告　▲釜山岡本都榮子▲京城森山龜雪、堀川ニコノ▲坊▲龍山秀思山人の諸氏の住所至急御通知ありたし　◆編輯局讀者文藝係



毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

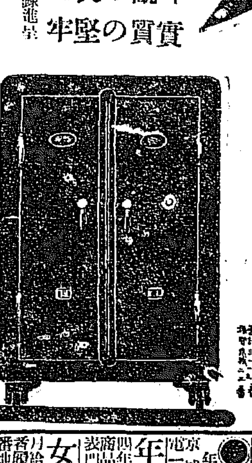
化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の椿香油なり



代理店 大阪 平尾レート
本舗 東京 平尾パール

十二月十五日より三十一日迄
特別割引歳暮大賣出し

村木時計舗　京城支店
電話四七一番振替京城三一九〇番

外觀の美こ實質の堅牢

東京　竹内ペント金庫
京城本町　熊平支店
目錄進呈

大改良經濟ランプの特長は何!!!
◎火災を恐るゝ人◎光力を望まるゝ人◎經濟を論ずる人◎石油は普通ランプの半額以內◎如何なる強風にも堪へ得◎堅牢無比
價格安價實用に適す
△特約代理店募集　御希望の方は特に御相談に應ず
特約と經濟之一例
晴夜に文明の燈なし光力は十燭以上にて石油燃料の如きは十時迄もくご半額以內にて在來ランプ一合を消費すれば價格四錢其半額二淺にてすれば一ヶ月六十錢一ヶ年七圓二十錢の利益を知らざる內に莫大の利益さなる殊に普通ランプより手輕にて取扱容易なれば此際彼れ是迷はず自力本位なる本器を一度試し見られよ
如何なる寒さにも石油は凍りません

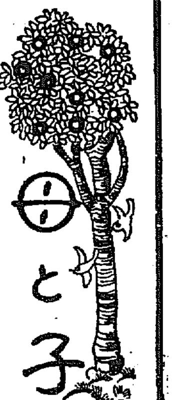
一個金一圓七拾錢　外に送料五十錢
見本一個は一切割引せず
朝日式經濟ランプ　發賣元　東京市本郷區湯島天神町一の八二　振替東京四三一四六番
大畑商店洋燈部東京支店
特約大販　埼玉縣川越南町
本店　大畑宗五郎商店

かぜ
面白い程きく
荒川のカギヤピリン
彼是と手遲れせぬ樣直服用あれ
現今の流行かぜには頗る妙
丸劑と散劑とあり◇小兒には又專用の小兒用カギヤピリンあり◇にせもの注意
定價　十錢　廿錢　卅錢　五十錢　壹圓
本舖　東京　名古屋　製藥　問屋　荒川長太郎
全國到る處の藥店に販賣す　紙は無代郵送す

京城府明治町二丁目（本町江戸川横すり入る）電話三七八番
內科　小兒科　チアテルミー科　入院隨意
中島醫院（普通病室　隔離病室）
院主　中島貞信

京日案內
男女店員募集　十五歳以上の男女數名希望者は履歷書携帶本人直接來店あれ市內に確實なる保證人を要す　南大門通二丁目　羅紗商　睦商會
日鮮人を問はず外交員に確信ある者は來れ優遇す　京城黃金町一丁目　共保生命出張所
裁縫女入用　年卅五歳以上委細面談　京城新町　電話三六二番　君乃江
年金恩給　低利長期卽時立替　前年半迄保險不要▲京城永樂町一　商品陳列館表門前下角　江州屋本店
女內勤事務員　高女卒業程度　月給貳拾五圓以上勤務八時間　希望者履歷書持ち京城若草町百六番地　電話三千十一番　報國公債會社
店員入用　但商業に經驗ある者　本町二丁目　大橋商店
電話至急讓りたし　御希望の方は電話二三二六番へ
給仕募集　十五六才迄ノ內地人男　履歷書携帶庶務掛へ來合スヘシ　龍山　總督府印刷所
移轉　今般業務擴張の爲め事務所を左記に移轉仕候　京城本町五丁目三十六　電話一六〇〇番　共濟金融會　理事長池田與三郎

因三林藥　百圓呈　阪北詰角　大阪有田ドラッグ商會
りん病　ばい毒　請合藥
帝國醫科大學病院
淋病專門藥は治病用と心臓毒專藥は驅梅內服藥として醫學上最有效と確定し此等にて實驗證明せる高貴藥である事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
◎あらゆる治療をなすも効なき患者は一度來談あれ
にせ物　東京大阪各地ににせドラッグあり
大阪有田　御照會を乞ふ
京城南大門外停車場通　大阪ドラッグ商會滿鮮本部（振替京城一六〇七番　電話一五六六番）
京城黃金町三丁目　全支店
龍山漢江通　全支店
釜山大廳町三丁目　全支店
元山本町三丁目　全支店
平壤櫻町十二番地　全支店
仁川宮町二丁目　全支店
◎朝鮮のにせ物　京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意を乞ふ
請合藥有化藥店販賣不許
全國到る所の都市朝鮮滿洲南滿台灣等に支店あり
京城龍山等各地に僞物有　御注意
東京日本橋通四　大阪心齋橋　有田ドラッグ商會



母と子 五十一

北島春石作 森田久畫

愛想づかし（一）

久し振で一萬と纏つた現金を懐中へ捻込んだ高松朔平は、猪狩を引つ張つて三日あまりを、何處とも知れず沈没してしまつたが、四日目の夕暮近く、威勢好く自動車を飛ばせて、芳町の蔦永樂へ乘着けた。

『おい！』と、格子を蹴放す勢ひで飛込み『お鯉は何うした？今日はうんと金を持込んだぞ。』

地震か火事かと驚き顔で、急いで奥から駆出した仕込のお袖は、暫く呆氣にとられてゐたが、やがて、

『お留守よ！あの姐さんは。』と素氣ない挨拶。

この少婢め！何を吐すかとばかり、朔平はもう上り框に片足をかけながら、

『ナニお鯉は留守だと……居なくば歸るまで待つ分だ。』と旦那風。

『あら、そんな邪なすつちや困るわ。』と、勇將のもとに弱卒なき例で、お袖は障子際に立塞がつた。『姐さんがお留守中には、誰も通してはいけないと言付けられてるんですもの。』

『だが、俺だけは番外だ。』と、强たか酔つた据眼『なあ、お前だつて俺がお鯉の何だか知つてるだらう。』

『ね、先には旦那だつたけど、いつか人形町のビヤホールで、すつかり手が切れたと伺つてゝよ。』

『アッは……、未だお鯉はあれを根に持つてゐるのか。』と大口開いて哄笑ひ『女にはうつかり冗談も言はれない。つまり其時のはづみで、お互に虫の居所が悪かつたんだ。』

『でも……旦那をお通し申しては、あとでどんなに叱られるかしれないから。』と、こゝを先途と敵の矢面に立つ『今日だけはこの儘で、姐さんが在宅の時に出直してくださいな。』

『ちよ！馬鹿め。』と、朔平はむらむらと癇癪を起して『少婢の癖に出過ぎた眞似をするな！ぐづぐづ吐かすとこれだぞ。』と、平手でピッチャリ、呀と悲鳴をあげしを見も返らず、案内知つたお茶の間へ入つて行くと、留守の筈なるお鯉は、緣起棚を背にしてちんと納まり、膳の上には氣取つた仕出料理が二品三品、客のお銚子も二三本並んで、今まで情夫と痴話まじりに飲んでゐたらしく、長火鉢の前には友禪縮緬の座蒲團までが敷いてある。

『うむ、お前は居たのか。』

『何だつて……』と、微酔機嫌の顔をあげたお鯉は、とろりとした眼を据ゑて『わたしやこゝの主人だもの、自分の家にゐるのに不思議はないさ、それよか、お前さんは何の御用で御出でなすつたのさ。』

『おい、おい、冗談ぢやないぜ。』と、朔平は帽子も外套も脱がずに、ムンズリ坐り込んだ『商用の都合ならば、二月三月はおろか、半年や一年は遠退く事もあるが、それで旦那の顔を忘れられて堪るものか。』

『おや、さうですかねえ。』

『その代り今日はうんと喜ばせる事があるんだ。』

『どんな事か知らないけど、他人の儲け話を聞いたつて、此方や三文の徳にもならないんだから。』

『他人だと？』

『さうですとも。』と、お鯉は木で鼻をくゝるやうな冷たい挨拶『いつかビヤホールでのごたごた一件！あの時が最後のお別れ、すつぱり手が切れて見れば、今ぢやおかの他人ですものね。』

『ふゝむ……』と、天井を睨んで腕組した『すると、もう俺の世話になりたくないのか。』

『もう、そんな話は廢しませう。』と、長煙管を拾ひあげて『時に、何ういふ御用で入らしつたのか、それを一つお伺ひいたしませう。』と、他人行儀も甚だしい切り口上に、朔平は颯とばかり血相變へ、急に暴れ出しさうにも思はれたが、やつと癇癪の蟲を押し殺して、地獄の底を這ひ廻るやうな笑ひ聲を立てた。

『はツは……、詰らぬ厭味は抜きにして、丁度酒もつき加減、これから仲直りに一杯飲らうぢやないか。』

◎高いものが賣れる

年末の買物 地質よりも柄

▽物價騰貴に馴れて來た十二月勞頭から買出しが初めた二三の呉服店に就て聞く所を綜合すると呉服類は絹綿通じて昨年末に比し三四割以上の騰貴になつてゐるけれど商買は昨年よりも一殊に一昨年よりも

◇甚だ仕易い と云つてゐる、それは一昨年も未だ物價騰貴が世人の頭に徹底せず値段を聞いて吃驚する客が多かつたけれど本年末は客の方が能く騰貴率を呑み込んでゐる更に動じないのみか昨年十圓の品が本年十三四圓するのは當然のこと、して置いて更に夫以上の品物を要求すると云ふ風で今度は商人の方が吃驚させられる、一二の例を擧げると之は内地での話であるが座布團の如きでも上等品は

◇緞子か縮緬 か羽二重に極つてゐるが今年は出來合の品で滿足せぬ傾向が著しくなり縮緬の染紋様を變へさせたり緞子の柄を別仕立に織らせて見たりして何でも自家用特製品に鎬を競はねば承知せぬ、昨年まで格子流行だつたのが本年は有職模樣に稍々新意を出さうなど、商人よりも客の方が熱心だ、西陣緞子二尺四方ものの十枚二百五十圓と聞いても『ハア左うですか』と云つた調子で張合の無いこと夥しい毛布でも四割高等は

◇夙に御承知 で良い物くと賣れる、職工の主婦さんが假りに昨年一圓の買物をしたとすると今年は二圓五十錢乃至三圓平均はどうしても買つて行く勘定である、中流の下か下流の上か知らぬが銘仙類でも八九圓以下のものはテンデ見向かれぬ、上等十五六圓、中等十三四圓の邊が一番歡迎され夫も上等ほど足が早い、何物も上等品擡頭の爲め愈高くなる一方下等品は欠伸をしてる、物品選定に著明な傾向は

◇地質より柄 を好むことである、言換れば持よりも儲よりも外觀と趣味との滿足に重きを置く心持が女中階級にも瀰漫つて來た即ち上等品下等品の定義が以前とは餘程違つて來たのである、贈答品の賣行は十日頃から廿日までが關の山で其先は端物が賣れる茲一週間ほどは自ら用として仕立てる樣な平生着が最も多く賣れる

皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
皮黴科 佐藤醫院
京城明治町二丁目（元町一丁目） 電話一七三番
日曜祭日午後二時迄

院長 醫學士 森定吉
（美容醫院改め）
森病院 内科 小兒科 ……入院隨意……
京城明治町二丁目舊竹川醫院跡 電話二六三番

▲撫順炭
南滿洲鐵道會社特約店
西村商會
京城永樂町二丁目 長電話三〇三番 九二〇〇番

◇鰹節鑑別法

▽本場と偽物 ▽素人の注意

お正月の御料理を甘味くするには先づ鰹節から選ばなくてはいけません鰹節には色々の種類があり、且つ本場と偽物とがありますが、此良否を鑑別するには素人としては餘程注意して研究を重ねなくては難しいものです、これをよく知るには鰹節を買ふ毎に信用ある店でよく

▽説明 を聞くのもよい方法です、兎に角食物について知つて置く事が必要です、又鰹節は種類によつて風味を異にして居りますからこれをよく研究した上で煮物には何節がよいか、吸物には何節がよいかを知つて使用する事も大切なことです、それで鰹節は

▽一般 に伊豆節と土佐節を良いとしてありますが伊豆節の缺點は冷めると味が變ります、然し土佐節はそう云ふ事がありませんから先づ鰹節としてはこれが良いやうですけれども調味は各人その好みが違ひますから一様に申されぬのは勿論ですが一般の好みは土佐節がよい

▽價は 伊豆も土佐も差はありません、その次に良いのは八丈島から産する八丈節と云ふのがあります、これは餘り知られて居りませんが大變に良いものですその次が熊野節で次に當るのが薩摩節です、この薩摩節は大きくて安價ですから一寸素人向きがします煮物によりては却つて風味を添へる場合もありますが

▽形が 大きい丈けに味が大味ですから汁物には調和しません次に一般の鰹節は徳用と申して居りますこれは一節に背と腹の兩方があるからです背の方は味が淡目ですから汁物によく又腹の部分は濃厚ですから煮物の出汁によい

ランプ 硝子器 電氣傘
京城本町二丁目 長門屋
御橋本硝子店
電話三二二番 振替一八七二番

日報歌壇

初冬夜 那古井濡子

しぐしぐと齒の胸にれぎの香のしみぐみて冬をこそ思へ

屋奥きのつらなる山の高峯に白雪の降り朝空は晴る

別れ來し我なつかしむ心よりさこめかなるこの涙かも

朝霜にこゝに裏葉はうら枯れてカサカサとなる木枯の風に

朝戸出のあさき淋しき心にも似て宵月はかすかに殘る

京城 志都子

妻になれ妻になれよとさきくからに十九のとしのいとほしきかも

何處よりくれそめし野か若人にもの思はせて夕ざいにけり

我がゆくてさゞすに似たり宵闇に三角山の高くそびゆる

初冬の雲の袖などかきあわせふと見れば星の流れぬ

雜想 大邱 百合

汝が紐は終に死なりと何者の囁ひて行きゝ見かへりがちに

小さな木の國に生れて更に又からなつくりて住めるおろかさ

…（工氏を思ひて）…

しつとりと顔に汗みおぼゆつゝ桑の葉に出幸さあるかな

なれぬ手にかきし落葉を日本の子にたふる悧し涙忘るゝ

▲廣告▼

たんせき 引風の良劑

セキドミンは右記兩氏が苦心の結果處方せられたるもの●今日本で一つしかない、たんせきの良劑で其製法は錠劑にして用量は少く効能著く顯著です 御一讀の上御使用あれ

Sekidomin
宮田先生 津先生 處方
セキドミン
たんせき 感冒良劑

●感冒●肺炎●肋膜炎●氣管支加答兒●喉頭炎にて喉を迫し咽喉にぜろぜろする者●流行性感冒には時候の關係にて起る痰咳●たんせきに喘息●咽喉カタル●又はぜんそく又は病後のせき●なほりこじれたる痰咳●頑固に困する痰せき●夜中せき●出づる時●小兒の痰せき等の人は御試用を乞ふ
定價 一圓 五十錢 二十五錢 試用分は各地藥店にあり
賣捌 大阪市東區京橋三丁目 弘濟藥院

李太王殿下御嘉納品

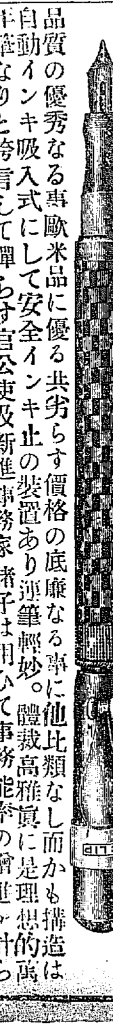
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルヲ以テ金褐色（紅蔘ト同色）ニシテ粘着力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黒色ニシテ苦味強ク鐵臭焦臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

強壯、補血、興奮、保溫、緩和、發汗、健胃、利尿、鎭痛、收斂等ノ治效ヲ有スルヲ以テ効力ヲ有スルヲ以テ
○神經衰弱○精力減退○老衰○冷症○レウマチス○消化不良○肺病○貧血○婦人病○ヒステリー○心臟病○腎臟病○腦病○陰萎○胃腸病○慢性マラリヤ等ニ應用セラル

上製 十瓦入 一圓八十錢 二十瓦入 三圓二十錢 四十瓦入 [illegible]
特製 十瓦入 一圓五十錢 二十瓦入 二圓八十錢 四十瓦入 五圓四十錢

朝鮮人蔘製劑所
特約大販賣 京城太平通一丁目
京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

正十四金 保險付
ゴール萬年筆特價提供



▲特價壹圓五拾錢 ▲送料九錢 代金引換五錢

品質の優秀なる專歐米品に優る共劣らす價格の底廉なる事に他比類なし而かも構造は自動インキ吸入式にして安全インキ止の裝置あり運筆輕妙。體裁高雅眞に是理想的萬年筆なりと誇言して憚らず官公吏及新進事務家諸子は用ひて事務能率の增進を計らるべし學生諸君は採りて以て貴重なる時間と努力の節約に供せらるべし敢て薦む
▲特約販賣希望人士は有利御相談申候

發賣元 東京市京橋區弓町十七番地 福田商店 電話京橋二六五一番 振替東京二〇〇七番

◎阿波共同汽船出帆 仁川
大連直行（關東都督府命令船）
一共同丸 十二月十一日後港入 十二月十二日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて旅客連絡輸送取扱 大連にて青島行定期船接續荷客共通輸送
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 南大門（電話二七六〇、八二二） 河村運送店
京城取次店 [illegible]

◎日本郵船出帆 仁川
大連、秦皇島行 酒田丸 一月三日朝出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
横濱丸 十二月十五日正午出帆
高砂丸 十二月廿六日正午出帆
仁川海岸町二丁目（電話十番） 郵船回漕部

◎五光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、清津行 第三[illegible]丸 十二月十三日釜山出帆 十二月廿五日元山出帆
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三[illegible]丸 十二月十四日釜山出帆 十二月十一日元山出帆
釜山 大池回漕部 電話一三三

美味と滋養の葡萄酒

歳末年始の御贈答には

本年も又是非

贈つても貰つても一番喜ばれる

赤玉ポートワイン

におきめ遊せば!!

贈答には最好適品

■先方の健康を祝する意味に於て
■置けば置く程品の良くなる点に於て
■進物として最も格好な贈答品

それ故に皆様に是非御勸めします

◎爲替貯金增加

遞信省の調査に依れば爲替貯金局[illegible]

三千五百四十萬五千八百八十四圓
にして月末現在は人員千九百八萬
二千六百九十三人金額五億四千八

七百二十三人購入千六百二十五枚
四萬九千六百三十五圓保管十二萬
二千二百八十九枚二百三十二萬四

して月末現在は六十五萬六千五
百五十九人三百八十三萬二千八百
二十四枚七千百五十六萬四千七百

百八十二圓口座振替九萬四千三百
十六口二千七百八十三萬八千五百
一圓にして拂出は[illegible]

十八百八十九萬四千四百五十圓に
して前月に比すれば現在數加入者
十二百八十八人[illegible]百八十九

六萬七千八百八十五口九千百四
十一萬二千六百五十九圓▲拂
二百五十七萬三千三百三十七口
五千百十一萬九千五百九十七圓

入金三千四百八十四圓▲歳入金受
入 遞信省及各植民地所管千六
百九十九萬九千五十三圓▲其地
各廳所管二萬二千五百[illegible]千三十
一萬七千三百五十四圓▲歳出金

十九萬六千八百八十六件▲保險金支
拂千百八十九口四萬七千二百九
十七圓